

一 般 競 争 入 札 公 告

役務の提供等の一般競争入札について、次のとおり公告する。

令和8年2月13日

公益財団法人環境科学技術研究所
総務部長 佐々木 昭吉



1. 競争に付する事項

- 1) 件 名：低線量生物影響実験棟等 空調設備等運転管理業務
- 2) 仕 様 等：仕様書のとおり

2. 入札方法

- 1) 入札当日参加者名簿に会社名、出席者名（代理可）を必ず記入すること。
- 2) 入札書は原則として封書にて提出すること。
- 3) 入札する額は、作業に要する費用の総額とする。
- 4) 落札決定に当っては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額とする）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
- 5) 入札は当研究所の予定価格に達するまで3回を限度として行う。1回目提出する書類は入札書及び見積書とし、以降2、3回目については入札書のみとする。
- 6) 2回目の入札に付し落札者がいない場合において、1者を除いて他の入札者がすべて辞退した場合又は1者を除いて他に有効な入札を行った者がいない場合は、以後の入札は行わずに、その1者との随意契約により契約を締結する。
- 7) 3回目の入札に付し落札者がいない場合は、最低入札価格提示者と随意契約により契約を締結する。
- 8) 第1回目のみ入札書を郵送（書留扱いに限る）により提出することができる。この場合は令和8年3月18日（水）17時までに総務部総務課契約係に到着することを要し、封皮には「令和8年3月19日（木）執行 低線量生物影響実験棟等 空調設備等運転管理業務入札書」と明記すること。（入札書及び見積書に記載する日付は開札日とすること。また、封筒には質問書の原本も同封すること。）

3. 入札に参加する者に必要な資格

- 1) 入札に参加を希望する者は、以下のいずれかの参加資格を有することを証明する書類を令和8年3月13日（金）17時までに提出すること。なお、当該参加資格を申請中の場合は、申請中であることを証明する書類を提出することとし、入札の日時までに参加資格を有することを証明する書類を提出すること。
 - (1) 当研究所の競争参加資格「役務の提供等（A 機械設備等の保守・運転管理）」の認定を受けた者。
 - (2) 国の競争参加資格「全省庁統一資格」において前号に相当する競争参加資格の認定を受けた者。
 - (3) 自治体の行政機関において前号に相当する競争参加資格の認定を受けた者。
- 2) 入札に参加を希望する者は、本入札の公告日から開札の時までの間に、国又は自治体の行政機関において指名停止の措置を受けていないこと。

4. 交付期間

交付の日から令和8年3月12日（木）17時まで

5. 入札・開札の日時及び場所

令和8年3月19日（木）10時30分

公益財団法人環境科学技術研究所 本館1Fセミナー室

上記日時に遅れたときは、入札に参加することができない。

6. 契約条項及び仕様書を示す場所

〒039-3212

青森県上北郡六ヶ所村大字尾駈字家ノ前1番7

公益財団法人環境科学技術研究所

総務部総務課契約係 山本 良亜樹

（業務請負契約条項Ⅱ及び仕様書等を配付します）

7. その他

別紙のとおり

補 足 説 明 事 項

- 1) 契約書作成の要否
不要
- 2) 入札の無効
 - (1) 本公告に示した競争参加資格のない者のした入札
 - (2) その他入札条件に違反した入札
- 3) 契約手続きについて使用する言語及び通貨
日本語及び日本国通貨
- 4) 入札者に求められた義務
入札者が作成した書類等は当研究所において審査し、採用し得ると判断した場合の入札書のみを入札の対象とする。また、提出した資料について説明を求められた時は、これに応じなければならない。
- 5) 落札者の決定方法
本仕様書を満足できると判断した場合の入札書のうち、予定価格の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。落札となるべき同価の入札をした者が2人以上あるときは、くじ引きによる抽選により落札者を決定する。
入札は、契約の申込として取り扱う。
- 6) 入札保証金及び契約保証金
免除する
- 7) 支払条件
検査払い
- 8) 必要書類
入札には以下の書類を持参すること。
 - (1) 入札書：3枚
 - (2) 見積書：公益財団法人環境科学技術研究所 佐々木 昭吉 宛
(入札書に記載する金額の内訳を記載すること。)
 - (3) 見積書用紙：複数枚
(「(2) 見積書」の中で、値引き額及び値引き後合計額が記載されていないもの。随意契約時に金額を記入のうえ提出すること。)
 - (4) 質問書：原本
 - (5) 委任状、その他これに準ずる書類：代理人(随意契約に関する権限も有すること)をもって入札する場合に提出すること。
- 9) 現場説明
無し
- 10) 質問書
 - (1) 提出期限：令和8年3月13日(金)：12時まで
入札に参加を希望する者は、質問の有無に関わらず、電子メールにて質問書を提出すること。
 - (2) 回 答：令和8年3月16日(月)13時～17時
質問があった場合、上述の時間内に電子メールにて回答する。なお、回答は、入札に参加を希望する者全てに一斉送信する。
 - (3) 質問書の提出先
総務部総務課契約係 山本 良亜樹
E-Mail ies_keiyaku@ies.or.jp
T E L 0175-71-1215 (直通)
- 11) その他
 - (1) 入札申込者心得書のとおり。
 - (2) 契約名称、契約締結日、契約相手の商号又は名称・住所、契約金額を当研究所ホームページに掲載する場合がある。

入 札 書

件 名：低線量生物影響実験棟等 空調設備等運転管理業務

金 額：	円
<hr/>	
消費税：	円
<hr/>	
合 計：	円
<hr/>	

上記金額により契約条項を承認のうえ入札いたします。

令和 年 月 日

公益財団法人環境科学技術研究所

総務部長 佐々木 昭吉 殿

住 所

会社名

代表者

代理人

印

印

令和 年 月 日

質 問 書

公益財団法人環境科学技術研究所
総務部長 佐々木 昭吉 殿

住 所
会社名
代表者

印

入札件名：低線量生物影響実験棟等 空調設備等運転管理業務

【質問事項】

・

令和 年 月 日

委 任 状

公益財団法人環境科学技術研究所
総務部長 佐々木 昭吉 殿

住 所
会社名
代表者

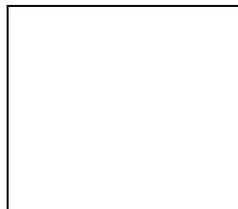
印

私は、下記の者を代理人と定め、次の権限を委任いたします。

受 任 者	住所
	所属
	氏名

委任事項 以下の入札並びに見積に関する一切の事項
・低線量生物影響実験棟等 空調設備等運転管理業務

受任者使用印鑑



令和 8 年度

低線量生物影響実験棟等
空調設備等運転管理業務

仕様書

公益財団法人 環境科学技術研究所

1. 目的及び概要

本仕様書は、公益財団法人環境科学技術研究所（以下「当研究所」という。）低線量生物影響実験棟（以下「低線量棟」という。）及び本館における空調設備等運転管理業務を受注者に請負わせるための仕様について定めたものである。

本業務は、実験動物（マウス）を飼育管理する動物管理区域（SPF 区域、CV 区域、検疫区域）、密封放射性同位元素を用いた放射線照射実験を行う放射線管理区域、検査室や実験室等の実験区域等の区域で構成される低線量棟、並びに実験区域及び一般区域で構成される本館を対象とし、これらの施設において定められた空調環境条件に合わせた空調運転を行うこと及び本施設が安定的かつ長期的に健全な状態を継続できるよう施設を構成する空調設備、電気設備、衛生設備、建築設備等の機能を保守することを目的とし、24 時間の空調運転・監視作業及び必要な設備等の保守管理作業等を行うものである。

受注者は当該施設や関連設備等の特性、運転要領、関係法令等を十分に理解し受注者の責任と負担において本業務を実施し、また、施設の設備等に不具合等があった場合においては、実験研究への影響を必要最低限に抑えるための応急対応を行うものとする。

2. 実施場所

青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字家ノ前 1 番 7
公益財団法人 環境科学技術研究所
低線量生物影響実験棟
本館

3. 実施期間

令和 8 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日

4. 業務範囲

(1) 空調運転・監視作業（運転及び監視）

1) 低線量棟

平日休日を問わず 24 時間、各区域等において定められた空調環境等条件に基づく空調設備等の運転（起動・停止を含む）を行うものとする。また、中央監視機構、警報盤等の監視及び主要機器等の巡視を行い、空調状態等の監視を行うものとする。

2) 本館

一般区域については主に平日の就業時間、また、実験区域については 24 時間、各区域等において定められた空調環境条件に基づく空調設備等の運転（起

動・停止を含む)を行うものとする。また、中央監視機構、警報盤等及び主要機器等の巡視を行い、空調状態等の監視を行うものとする。

(2) 設備等保守管理作業

施設を構成する空調設備、電気設備、衛生設備、建築設備等に対して、原則、平日（ただし、当研究所が休日指定する平日は除く）の昼間8時30分～17時15分までの間に、当該設備が長期的に良好な状態で維持できるよう月例点検、週例点検等の保守点検を行うものとする。また、継続運転（機能維持）に必要な消耗品等の補充や交換、さらには必要に応じて軽微な補修等を行い、突発的な不具合等が発生しないよう予防保全に努めるものとする。なお、機器設備等を停止もしくは設定条件等を変更する場合は、予め当研究所の了解を得ることとし、実験の進捗状況や点検内容等によっては、必要に応じて休日作業とすることもあることから、その場合は当研究所と協議の上行なうものとする。

(3) 不具合等における応急対応作業

空調環境等条件や当該設備において、不具合等が発生した場合、不具合等の起因となりうる事象が発生した場合又は不具合等のおそれがある場合は、状況に応じて実験研究への影響を必要最低限に抑えるための保守、修理等の応急対応を速やかに行うものとする。ただし、製造メーカ（代理店を含む）でなければ修繕できない場合は除く。

5. 業務内容

本業務にあたっては、労働安全衛生法等の関係法及びその他諸規程等に基づき、以下の資料及び事項について、業務を安全かつ効率的に実施するように努めるとともに、必要書類等の適正な作成、記録、保管を行うものとする。

添付資料

別紙 1-1 「低線量生物影響実験棟主要設備一覧」

別紙 1-2 「本館主要設備一覧」

別紙 2-1 「空調設備等運転管理業務作業基準(低線量棟)」

別紙 2-2 「空調設備等運転管理業務作業基準(本館)」

別紙 3 「放射線管理関係法令の遵守義務」

別紙 4 「本業務で立入りする場所において取扱いしている特定化学物質」

(1) 主な保守対象設備等

主な保守対象設備等については、各施設の主要設備一覧（別紙 1-1、1-2）のとおり。

(2) 空調環境等条件の担保

1) 空調環境等条件

本館については一般的な空調条件であり別に定めることとする。また、低線

量棟の空調環境等条件については、以下のとおり維持管理するものとする。

- ・温度：23±2℃ 清浄区域、検疫区域
- ・湿度：50±10% 清浄区域、検疫区域
- ・室圧：一般区域及び非清浄区域に比べ常時陽圧 清浄区域、検疫区域
- ・照明：7時点灯・19時消灯 SPF動物室、照射室、検疫室

2) 空調環境等条件の逸脱に関する対応

空調環境等条件が設定されている場所において、隣接する室間の差圧、温度及び湿度等に乱れが生じた場合（そのおそれがある場合を含む）は、当研究所に報告し、協議後に空調設備等の調整を行うものとする。

(3) 作業日時の調整

作業日時については、原則、事前に作業に関する月間工程表等を作成し、当研究所と調整し了解を得るものとする。

(4) 設備等の運転

設備等の運転については、空調環境等条件を担保するよう運転するものとし、本業務に係る保守点検等やメーカー等の専門業者による分解点検・修繕作業等において設備等の停止・起動が必要な場合は、研究所の業務等への支障の有無等を確認し、当研究所の了承を得てから行うものとする。なお、当研究所で作業する者の安全が担保できない可能性がある場合や設備等の不具合等が急激に進行するような場合はこの限りではない。

(5) 設備等の監視

中央監視機構、警報盤、機器等の監視及び巡視において、その運転状態や空調環境（空調の制御状態）を把握するように監視するものとする。

(6) 設備等の保守管理

1) 設備等の保守点検について

設備等の保守については、各施設の作業基準（別紙2-1、2-2）に基づき月例点検や週例点検等の保守点検を最低限行うものとする。特に、保守点検においては、設備等における運転状態の傾向変化に気を付け、不具合等につながる予兆を見逃さないよう努めるものとする。

2) 設備等の運転・保守に必要な消耗品等の交換等

設備等を運転・保守する上で必要な送排風機・給水ポンプ等のグリスアップ、ボイラ用清缶剤の補充、軟水装置の再生作業、蒸気配管・ストレーナ等のパッキン類の交換、空調用フィルタの交換、排水処理設備の薬品補充、自動純水処理装置の薬品補充、各種センサ類等の校正若しくは交換、照明設備の電灯交換、安全表示（標識）等の交換・整備等を行うこととする。また、必要に応じてタッチアップや軽微な補修等を合わせて行うことで、設備等の高寿命化及び突発的な不具合等に関する予防保全に努めるものとする。

※ 本業務に係る消耗品や交換部品等については、メーカ（代理店を含む）や専門業者等の分解点検時において交換される部品等は含まないものとする。

3) 燃料の給油

ボイラ用 A 重油及び暖房用の灯油受入れ並びに除雪機等に使用するガソリンの給油について、必要の都度、安全対策等を行い適宜対応するものとする。

4) 点検通路等の確保

設備等の維持管理上必要な点検通路については、必要に応じて除草及び除雪を行い担保するものとする。ただし、駐車場及び玄関ロータリー等の一般的通路は除く。

(7) 監視・点検等の記録・保存

1) 光熱費等に係るデータの記録・保存

本施設における電気、水道、燃料、動物給水等の使用量に関し、記録し保存するものとする。

2) 設備等の不具合等に関する記録・保存

空調環境や設備等の不具合等に関しては、その事象に関する内容、原因、対策案等を取り纏めて記録し、保存するものとする。

(8) 設備等の運転、保守等に係る資料等の整備

設備等の運転、保守等に係る資料等について、必要に応じて以下の資料を作成し、それに基づき管理するものとする。なお、作成する書類等の詳細については、当研究所と協議するものとする。

1) 各設備・機器・装置等の運転に係る要領・手順書

（運転手順、始動・停止手順、点検に伴う切替え手順等を含む）

2) 各設備・機器・装置等の点検記録紙

3) 各設備・機器・装置等の改修・更新に係る提案資料（長期計画書）

4) 各設備・機器・装置等の部品や消耗品等の在庫一覧表

5) 各設備・機器・装置等のメーカ・連絡先一覧表

6) その他、各設備・機器・装置等の維持管理に係る資料

※ 当研究所が所持していない設備等の維持管理に必要な書類、情報等については、製造メーカ等に確認し、情報収集するものとする。

(9) 法定検査等の対応について

当研究所が受検する法定検査等について、適宜対応するものとする。

(10) 設備等の改修・更新に係る維持管理に関する提案について

設備等を維持管理していく上で、設備等の経年・腐食・消耗等の劣化状況に応じて、設備等に関する改修・更新や点検項目等に係る長期計画を必要に応じて提案するものとする。

(11) 設備等の不具合等に対する応急対応

設備等に不具合等があった場合や不具合等につながる予兆や運転状況の傾向変化が認められた場合においては、作業者の安全確保を行うとともに実験研究への影響を必要最低限に抑えるための修理等（ただし、製造メーカー、専門業者でなければ対応できないものは除く）の応急対応を行うものとする。なお、不具合等や異常時の場合は、応急対応するとともに速やかに当研究所に報告するものとする。

(12) 災害時における対応

火災、津波、地震、落雷、停電等の災害発生時（緊急時）においては、状況に応じて設備等を停止する等、人命優先とした上で必要な措置を講ずるものとする。

6. 作業従事者の要件等

(1) 作業従事者の要件

作業従事者は、以下の要件を満たす複数の作業従事者で構成するものとする。

- ① 別紙 1-1、1-2 に示す空調機器設備等の構造・特性等を理解し、十分な関連業務経験を有すること。
- ② 基本的な作業手順に従い業務を行い、不具合箇所等の異常に速やかに対処できる一部専門的な技術を有し、十分な関連業務経験を有すること。

(2) 作業従事者の資格

- | | |
|---------------------------|------|
| ① 2級ボイラ技士 | 1名以上 |
| ② 乙種第4類危険物取扱者 | 1名以上 |
| ③ 普通第一種圧力容器取扱作業主任者技能講習修了者 | 1名以上 |

7. 作業責任者の選任

受注者は、本業務の履行にあたり、作業従事者の中から作業責任者を選任し、次の業務にあたらせるものとする。

- (1) 作業従事者の指導及び労務管理並びに作業上の指揮命令
- (2) 本業務履行に関する当研究所との連絡・調整
- (3) その他、本業務の処理に関する必要な事項

8. 支給品及び貸与品

(1) 支給品

- 1) 電気・水道・通信費
- 2) 各設備等補修等部品、関連消耗品類
- 3) その他当研究所が必要と認めたもの

(2) 貸与品

- 1) 居室（スペース 低線量棟内）
- 2) 放射線管理区域及び実験動物管理区域内の作業衣類及び保護具類
- 3) その他当研究所が必要と認めたもの

9. 摘要法令等

本仕様書を遵守し、関係法令に基づき本業務を行うこととする。また、下記の標準仕様書及び関係規格を適用するものとする。

- (1) 放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律（放射線障害防止法）
- (2) 空気調和衛生工学会規格（HASS）
- (3) 電気設備技術基準（内線規程）
- (4) 日本建築学会建築工事標準仕様書（JASS）
- (5) 日本工業規格（JIS）
- (6) 労働安全衛生法
- (7) その他関係法令等

10. 提出書類

- | | | |
|-----------------------|------|-----------|
| (1) 責任者届 | 1部 | 契約後速やかに |
| (2) 工程表 | 1部 | 契約後速やかに |
| (3) 点検報告書 | 1部 | 作業終了後速やかに |
| (4) その他、当研究所が必要とする書類等 | 必要部数 | 随時 |

※ 点検報告書の取りまとめ方、提出時期等は、別途、当研究所に確認すること。

11. 検収

本仕様書の定めるところに従い作業が確実に実施されたこと及び提出書類の確認をもって検収とする。

12. 特記事項

- (1) 受注者は、放射線管理区域及び動物管理区域内の作業に当たっては、区域への入退域方法及び区域内の作業制限等に関して、事前に当研究所より注意事項等を確認し、作業することとする。
- (2) 放射線管理区域内の作業に当たっては、「放射線管理関係法令の遵守義務」（別紙3）を適用するものとする。
- (3) 放射線業務従事者の被ばく線量測定は個人線量計（クイクセルバッジ等）を用意するものとする。
- (4) 本業務で立入りする場所において取扱いしている特定化学物質について、別紙4に示す。

- (5) 本業務従事者を放射線業務従事者として登録する場合は、その従事者の放射線管理手帳の写し及び健康診断結果（電離検診）を提出することとし、登録後は毎月の被ばく線量測定結果を速やかに提出するものとする。
- (6) 受注者は、本業務の実施時間外（夜間）に災害が発生した場合においても、当研究所が要請した場合は、当研究所の規定に基づき対象設備等の点検及び安全確保等協力のために作業従事者を派遣するものとし、これに係る費用の取扱いについては別に定めるものとする。

13. その他

- (1) 受注者は、労働基準法その他関係法令上の責任及び作業従事者の健康、安全、規律、及び風紀の維持に関する全ての責任を負うものとする。
- (2) 受注者は、「放射線障害防止法」「動物の愛護及び管理に関する法律」等関係法令及び当研究所が定める「放射線障害予防規程」等各種規定・要領を遵守するものとする。
- (3) 受注者は、当研究所の規定に基づき実施される教育・訓練等に関して作業従事者を適宜参加させるものとする。
- (4) 本業務遂行中に作業従事者が被った災害については、当研究所側の原因により生じた災害を除き当研究所は責任を負わないものとする。
- (5) 作業従事者は、本業務の実施時間内において火災、津波、地震、落雷、停電等の災害が発生した場合は、当研究所の規定に基づき対象設備等の点検を行うものとする。
- (6) 受注者は、当研究所が伝染病の疾病（新型コロナウイルス感染症等）に対する対策を目的として対処方針等を定めた場合には、これに協力するものとする。
- (7) 業務終了前においては、本仕様書に定める業務の他に引継等の業務を行う場合がある。
- (8) 点検頻度や点検内容等において、維持管理上改善した方が良い点等があれば提案することとし、当研究所と協議し承認後に変更するものとする。
- (9) その他、業務遂行に必要で本仕様書に定めのない事項が発生した場合は、当研究所と受注者間で協議し、合意のもとに実施するものとする。

以上

低線量生物影響実験棟 主要設備一覧

点検設備等名称	詳	細
1. 空冷チリングユニット (2台)	[動物実験環境(温度:23±2℃、湿度:50±10%)を制御している空調機等に、冷水を供給する設備である。]	
	No.1	No.2
	メーカー : 日立ジョンソンコントロールズ空調(株)	メーカー : 日立ジョンソンコントロールズ空調(株)
	型式 : RCF1180AZ1B	型式 : RCF1180AZ1B
	製造年月 : 2022年12月	製造年月 : 2020年3月
	製造No. : U7776089	製造No. : U7771543
	圧縮機 : 22kw	圧縮機 : 22kw
	冷却能力 : 106kw	冷却能力 : 106kw
	電源: AC3φ 200V 50Hz	電源: AC3φ 200V 50Hz
	冷媒ガス : R134a × 34kg	冷媒ガス : R134a × 34kg
2. 温水ボイラー	[動物実験環境(温度:23±2℃、湿度:50±10%)を制御している空調機等に、温水を供給する設備である。]	
	No.1	No.2
	メーカー : (株)日本サーモエナー	メーカー : (株)日本サーモエナー
	型式 : KSAN-160HH	型式 : KSAN-160HH
	製造年月 : 2016年2月	製造年月 : 2018年11月
	製造番号 : SA16C0388	製造番号 : SA16C0862
	定格出力 : 186kw	定格出力 : 186kw
	伝熱面積 : 4.9m ²	伝熱面積 : 4.9m ²
	最高使用圧力: 0.49MPa	最高使用圧力: 0.49MPa
	使用燃料 : A重油	使用燃料 : A重油
	油圧 : 1.1±0.05MPa	油圧 : 1.1±0.05MPa
	燃料消費量: 21.2L/h	燃料消費量: 21.2L/h
	設備電力 : 0.54kw	設備電力 : 0.54kw
	温水流量 : 16000L/h	温水流量 : 16000L/h
3. 蒸気ボイラー	[蒸気発生器(飼育区域加湿用)、高圧蒸気滅菌器、洗浄器(ケージウオッシャー)に給蒸する設備である。]	
	No.1	No.2
	メーカー : (株)日本サーモエナー	メーカー : (株)日本サーモエナー
	型式 : EQSH-501KM	型式 : EQSH-501KM
	製造年月 : 2016年7月	製造年月 : 2012年3月
	製造番号 : Q050C1193	製造番号 : Q050B1668
	最大蒸発量 : 500kg/h	最大蒸発量: 500kg/h
	伝熱面積 : 4.81m ²	伝熱面積 : 4.81m ²
	発生熱量 : 313kw	発生熱量 : 313kw
	最高圧力 : 0.98Mpa	最高圧力 : 0.98Mpa
	使用燃料 : A重油	使用燃料 : A重油
	最大燃料消費量: 27.8kg/h	最大燃料消費量: 27.8kg/h
	設備電力 : 1.6kw	設備電力 : 1.6kw

点検設備等名称	詳細												
4. 第一種圧力容器 蒸気発生器	<p>[機器性能維持のため、清缶剤を蒸気ボイラ供給水に添加していることより蒸気発生器において「無添加の水道水」を用いて動物実験環境(温度:23±2℃、湿度:50±10%)を制御している空調機等に、給蒸する設備である。]</p> <p>メーカー : (株)亀山鉄工所 製造年月 : 2001年8月 使用開始 : 2002年9月 検査番号 : 宮溶8183 構造検査番号 : 宮13906 検査証有効期間 : 2014年9月2日まで 検査証番号 : 第4070号 登録性能検査機関 : (社)ボイラ・クレーン安全協会 青森事務所 寸法 : 内径600mm、胴長1040mm、全長1513mm 熱交換量 : 91.86Kw 伝熱面積 : 2.83m² 内容積 : 胴側0.35m³、管側0.025m³ 供給蒸気圧力 : 0.588Mpa 供給蒸気量 : 160Kg/Hr 発生蒸気圧力 : 0.049Mpa 発生蒸気量 : 123.8Kg/Hr 最高使用圧力 : 胴側0.196Mpa、管側0.686Mpa 水圧試験圧力 : 胴側0.331Mpa、管側1.09Mpa</p>												
蒸気発生器安全弁	<p>メーカー : (株)ベン 品名 : 福太郎 型式 : SL-40 40A 設定圧力 : 0.196Mpa</p>												
5. 第二種圧力容器 蒸気ヘッド	<p>[蒸気ボイラからの蒸気を、蒸気発生器(飼育区域加湿用)、高圧蒸気滅菌器洗浄器(ケージウォッシャー)に安定して供給するために、発生蒸気を一旦蓄積貯蔵する設備である。]</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">既設部</th> <th style="text-align: center;">増設部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メーカー : (株)亀山鉄工所</td> <td>メーカー : (株)亀山鉄工所</td> </tr> <tr> <td>製造年月 : 1994年11月</td> <td>製造年月 : 1998年4月</td> </tr> <tr> <td>検査番号 : 020527</td> <td>検査番号 : 021216</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力 : 10Kg/cm²</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水圧試験圧力 : 15Kg/cm²</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※既設部はNo.1蒸気ボイラ1台のみ設置時の胴体で、後にNo.2屋外蒸気ボイラを増設した際、同じ胴体を使用できるように増設し内積増量を図ってある。</p>	既設部	増設部	メーカー : (株)亀山鉄工所	メーカー : (株)亀山鉄工所	製造年月 : 1994年11月	製造年月 : 1998年4月	検査番号 : 020527	検査番号 : 021216	最高使用圧力 : 10Kg/cm ²		水圧試験圧力 : 15Kg/cm ²	
既設部	増設部												
メーカー : (株)亀山鉄工所	メーカー : (株)亀山鉄工所												
製造年月 : 1994年11月	製造年月 : 1998年4月												
検査番号 : 020527	検査番号 : 021216												
最高使用圧力 : 10Kg/cm ²													
水圧試験圧力 : 15Kg/cm ²													
温水膨張タンク	<p>[温水を一旦溜めて安全な圧力管理値内で安定させる圧力容器設備である。]</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td>メーカー : 株式会社プロテリアルファインテック</td> <td>最高使用圧力 : 0.80MPa</td> </tr> <tr> <td>型式 : EX-200V</td> <td>試験圧力 : 1.20MPa</td> </tr> <tr> <td>製造年月 : 2024年02月</td> <td>最高使用温度 : 95℃</td> </tr> <tr> <td>製造番号 : 247144</td> <td>全容積 : 200ℓ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>封入圧力 : 0.24MPa</td> </tr> </tbody> </table>	メーカー : 株式会社プロテリアルファインテック	最高使用圧力 : 0.80MPa	型式 : EX-200V	試験圧力 : 1.20MPa	製造年月 : 2024年02月	最高使用温度 : 95℃	製造番号 : 247144	全容積 : 200ℓ		封入圧力 : 0.24MPa		
メーカー : 株式会社プロテリアルファインテック	最高使用圧力 : 0.80MPa												
型式 : EX-200V	試験圧力 : 1.20MPa												
製造年月 : 2024年02月	最高使用温度 : 95℃												
製造番号 : 247144	全容積 : 200ℓ												
	封入圧力 : 0.24MPa												

点検設備等名称	詳 細
8. 給水タンク設備 加圧給水タンク	[屋外貯蔵タンクから加圧給水ポンプで給水したものをボイラー室内の 加圧給水タンクに受け入れ、水道水負荷に応じて作動する設備である。] メーカー : (株)川本製作所 ※モーター ユニット名称 : カワエース750 メーカー : (株)川本製作所 ユニット型式 : N3-750 200V、0.75kw 製造番号 : 1080320 ベアリング : 6204VV×2 圧力センサー始動揚程 吸い込み運転 : 18m 流れ込み運転 : 25m
9. 自動ブロー装置 ミニマックス	[蒸気発生器内へのシリカ成分付着を防止する目的で缶内濃縮水をブロー する設備である。] メーカー : 栗田工業(株) 型式 : R2000 瞬間流量計 メーカー : (株)東京フローメーター研究所 型式 : FC-S40A-SK2 電磁弁 メーカー : (株)京浜精機精製所 型式 : ME6C-C0944-DD
クリオート	メーカー : 栗田工業(株) 型式 : B235 導電率測定範囲 : 10~1,999mS/m 導電率制御範囲 : 10~1,000mS/m 温度測定範囲 : 0~203℃
10. 純水装置 逆浸透装置	[それぞれの機器系統を経て実験マウスの飲料用純水を製造する設備である。] メーカー : オルガノ(株) 型式 : PR-0100SG
FRP水槽	既設品
パワーシスターン	メーカー : 日立アプライアンス(株) 型式 : CX-110W 吐出圧力 : 0.11~0.17MPa ボールタップ : 吐水量32L/分
加圧ポンプ	メーカー : (株)川本製作所 型式 : NFG-750H-A 自動交互・並列運転高圧渦巻きポンプ 0.3KW×2台
11. 自動塩素添加装置 塩素添加装置 薬液注入ユニット	[実験マウスの飲料用純水に自動で一定濃度の塩素を添加する設備である。] メーカー : TACMINA 型式 : CLPW-30-ATCF-HWJ
12. 軟水器 No.1、2 蒸気ボイラ用	[市水が硬水のため、軟水に変換し各種機器に供給するための設備である] メーカー : 荏原ボイラ(株) 型式 : ES-12EJ ×2台
No.3、4 蒸気発生器用	メーカー : 栗田テクニカルサービス(株) 型式 : KS-MA-6J ×2台
No.5 純水装置用	メーカー : オルガノ(株) 型式 : SA-0750ZW-000 ×1台 最大採水流量 : 750L/h

点検設備等名称	詳細
13. ポンプ 温水ポンプ	<p>[片吸い込み渦巻きポンプに分類され、空調を許容温度内に保つために、温水ボイラーから空気調和機並びに外気処理ユニット及びファンコイル等、温水系統間の循環を目的として使用している設備である。]</p> <p>メーカー : (株)荏原製作所 ※モーター 型式 : 50×40FS4J51.5 メーカー : (株)東芝 製造年月 : 1994年12月 型式 : IK 製造番号 : PS838412 製造番号 : 吐出し量 : 267ℓ/m No.1 22440882 吐出圧力 : 0.1～0.5Mpa No.2 42410709 全揚程 : 15m E種絶縁 同期速度 : 1500min⁻¹ 200V、6.9A、1.5kw ベアリング : 6305VV×2 回転数 : 1420min⁻¹ ベアリング : 6205VV×2</p>
冷水ポンプ	<p>[片吸い込み渦巻きポンプに分類され、空調の冷房・除湿時期に屋上の空冷チリングユニットから空気調和機並びに外気処理ユニット及びファンコイル等、冷水系統間の循環を目的として使用している。]</p> <p>メーカー : (株)荏原製作所 ※モーター 型式 : 65×50FS4J52.2 メーカー : (株)東芝 製造年月 : 2010年12月 型式 : IK 製造番号 : 0670401K6 製造番号 : 吐出し量 : 208ℓ/m No.1 62208831 吐出圧力 : 0.35～0.54Mpa No.2 62208841 全揚程 : 18.4m E種絶縁 同期速度 : 1500min⁻¹ 200V、9.3A、2.2kw ベアリング : 6307VV×2 回転数 : 14120min⁻¹ ベアリング : 6205ZZ、6206ZZ</p>
送油ポンプ 及び 返油ポンプ	<p>[ギアオイルポンプに分類され、A重油サービスタンクから各ボイラへの給油、並びに屋外重油タンクへの返油を受け持つ設備である。]</p> <p>メーカー : (株)荏原製作所 ※モーター 型式 : 12GPA5.2 メーカー : (株)荏原製作所 製造年月 : 1994年12月 型式 : IK 製造番号 : PS466543 製造番号 : 吐出し量 : 6ℓ/m No.1送油 40402038 吐出圧力 : 0.1～0.2Mpa No.2送油 40546489 全揚程 : 15.24m No.1返油 40546487 同期速度 : 1000min⁻¹ No.1返油 40402035 E種絶縁 200V、1.8A、0.2kw 回転数 : 960min⁻¹ ベアリング : 6203VV×2</p>
給水ポンプ	<p>[No.1、2蒸気ボイラ用のポンプ・モーター一体型ベースレスポンプであり、各部点検手入れの他にメカシール、ベアリング等の部品交換整備をする。]</p> <p>メーカー : (株)丸山製作所 型式 : 15-PE-50S ×2台</p>

点検設備等名称	詳細
14. 機械室換気扇 ボイラー室換気扇	[ボイラー機械室を陽圧に保ち、機器の正常運転並びに酸欠防止など作業員の健康状態を健全に保つ設備である。] メーカー :三菱電機(株) 型式 :TK-40Q 産業用有圧換気扇 能力 :500×4312CMH×5mmAq 出力 :0.75kW
空調機械室換気扇	メーカー :三菱電機(株) 型式 :EF-35DTB1 産業用有圧換気扇 能力 :400×3040CMH×5mmAq 出力 :0.4kW ※通年24時間連続運転
15. 給・排気ファン 洗浄室系給気ファン	[低線量棟において、マウスの飼育実験における洗浄室内の空気調和を安定させる設備である。] メーカー :Panasonic 消音形キャビネットファン(大風量タイプ) 型式 :FY-28SCH3 製造年月 :2018年7月 製造No. :843 風量 :3000m ³ /h 出力 :1650W ベアリング :6203ZZ×2 絶縁階級 :F種
ホルマリン薫蒸 給気ファン	[低線量棟において、マウスの飼育実験におけるバリアを構築する場合、ホルマリン薫蒸作業後に清浄な空調環境に戻す設備である。] メーカー :(株)日立製作所 型式 :POS-RHF 井11/2片吸込形多翼ファン 製造年月 :1994年 製造No. :6321154 モーター形式:EF0UP-K 風量 :760m ³ /h 出力 :0.75kW 3.8A 風圧 :40mmAq ベアリング :6204VV×2 回転数 :1420min ⁻¹ E種絶縁 ベアリング :6304VV×2 Vベルト :A-31×1
洗浄室系排気ファン	[低線量棟において、マウスの飼育実験における洗浄室内の空気調和を安定させる設備である。] メーカー :(株)日立製作所 型式 :MU-175B 消音ボックス付ファン 製造年月 :1994年 製造No. :6223085 モーター形式:EF0UP-K (U9943197) 製造No. :D128504 風量 :1830m ³ /h 出力 :1.2kW 5.2A 風圧 :10mmAq ベアリング :6205VV×2 回転数 :1430min ⁻¹ E種絶縁 Vベルト :直結

点検設備等名称	詳細
15. 給・排気ファン ホルマリン薫蒸 排気ファン	[低線量棟において、マウスの飼育実験におけるバリアを構築する場合、ホルマリン薫蒸作業後に清浄な空調環境に戻す設備である。] メーカー : (株)日立製作所 型式 : POSV-RHA #1片吸込形塩ビファン 製造年月 : 1994年 製造No. : 59943196 (U9943196) モーター形式: TFO-K 製造No. : D128504 風量 : 12.7m ³ /min 出力 : 0.4kW 2.5A 風圧 : 20mmAq ベアリング : 6205VV×2 回転数 : 1420min-1 E種絶縁 ベアリング : UC205×2 Vベルト : A-31×1
照射室系空調機 No.1、2排気ファン	[低線量棟において、マウスの飼育実験におけるバリア区域内の空気調和と室圧を安定させる設備である。] メーカー : (株)荏原製作所 型式 : No2 1/2SRP30 製造年月 : 2014年 モーター形式: SF-HR 製造No. : P14709017、P14709020 出力 : 3.7kW 15A CAPACITY : 94m ³ /min ベアリング: 6306VV×2 風圧 : 1450Pa E種絶縁 回転数 : 2900min-1 ベアリング : UPC306D1 (ピローブロック) Vベルト : A67×2
動物室系空調機 No.1、2排気ファン	[低線量棟において、マウスの飼育実験におけるバリア区域内の空気調和と室圧を安定させる設備である。] メーカー : (株)荏原製作所 型式 : No2 SRP30 製造年月 : 2014年 モーター形式: SF-HR 製造No. : P14709013、P14709015 出力 : 2.2kW 9.5A CAPACITY : 60m ³ /min ベアリング : 6206VV×2 風圧 : 1350Pa E種絶縁 回転数 : 3600min-1 ベアリング : UPC204D1 (ピローブロック) Vベルト : A57×2
洗浄機排気ファン	[マウス飼育用ケージの洗浄に使用するケージワッシャー用の排気ファンである。] メーカー : (株)日立製作所 型式 : POSV-RHA 製造年月 : 1994年 モーター形式 : EFOUP-K 製造No. : 6223085 (U9943197) 製造No. : D128504 出力 : 0.4kW 2.5A 風量 : 20m ³ /min ベアリング : 6205VV×2 風圧 : 15mmAq E種絶縁 回転数 : 1420min-1 ベアリング : UC205×2 Vベルト : AX37×1

点検設備等名称	詳細
17. 脱臭装置 SPF動物室系統	[空気調和機からの実験マウスのいるバリア内に空調給気を行い、その臭気を直接建屋外に排出しないための脱臭装置である。] メーカー : 日本無機(株) 型式 : なし (AFR-2) 製造年月 : 1994年 製造番号 : 52299 フィルター : 排気プレフィルター4枚 中性能フィルター4枚 へパフィルター4枚 脱臭フィルター32枚 脱臭プレフィルター4枚
照射室系統	メーカー : 日本無機(株) 型式 : なし (AFR-1) 製造年月 : 1994年 製造番号 : 52298 フィルター : 排気プレフィルター6枚 中性能フィルター6枚 へパフィルター6枚 脱臭フィルター48枚 脱臭プレフィルター6枚
18. 外気処理装置	[洗浄室内への給気装置であり、汚れ空気など外気を直接取り込まないよう、フィルターや温冷水コイルが組み込まれている。] メーカー : 新晃工業(株) 型式 : DC-3 製造年月 : 1994年12月 製造番号 : 94T-531A-01 除塩フィルター : 1枚 (VX-90-56F) プレフィルター : 1枚 (VT-20S-610F)
19. ホルマリン系 フィルターユニット	[ホルマリン薫蒸で滅菌した際、強烈な臭気を直に大気放出せず、通常とは別系統のフィルターを通過させ排気するための設備である。] メーカー : 日本無機(株) 型式 : クリーンエア機器 製造番号 : 52300 へパフィルター : 1枚 (ATMC-Z-P-DT)
20. ファンコイル 洗浄室・廊下 (6台)	[実験室、モニター室及び廊下の冷暖房を担う設備である。] メーカー : 昭和鉄工(株) 型式 : CSR-CX 送風量 : 280CMH 冷却能力 : 1199Kcal/h 過熱能力 : 2068Kcal/h 冷温水量 : 6ℓ/h 出力 : 0.44kW

点検設備等名称	詳細
21. ロスナイ換気扇 モニター室 (1台)	[実験室、モニター室及び廊下等の冷暖房の熱エネルギーを排出せずに換気のみだけを行う設備である。] メーカー :三菱電機(株) 型式 :LGH-25RS 天井埋め込み型 能力 :150CMH×7mmAq 出力 :0.64kW
研究室・実験室 (5台)	メーカー :三菱電機(株) 型式 :VL-1400U2-C 壁掛け型 製造年月 :1994年 出力 :強 0.34kW 弱 65m ² /hr 風量 :強 105m ² /hr 弱 65m ² /hr
研究員居室 作業員室	メーカー :三菱電機(株) 型式 :VL-100U3-J 壁掛け型
飼料保管室 (3台)	製造年月 :2001年 出力 :0.33kW
22. モニター室エアコン	[モニター室内の温度・湿度調整のため使用する設備である。] メーカー :DAIKIN 型式 :FHGP112FB(室内機) RZRP112BYE(室外機) 製造No. :E001989(室内機) A002065(室外機) 圧縮機出力 :1.95kw 送風電動機出力 :0.046×2台kw(室内機) 186w(室外機) 設計圧力 :4.17MPa(室内機) H:3.60MPa L:2.66MPa(室外機) 冷媒 :R-32 3.15kg
23. 洗浄室エアコン	[洗浄室内の蒸気滅菌作業等で作業者の熱中症予防等、健康状態を健全に保つため、冷房専用として室内温度管理に使用する設備である。] メーカー :東芝キャリア(株) 型式 :ROB-J2804HLZ 冷房専用扇室内機・室外機 製造No. :11170002 圧縮機出力 :7.5kw 冷媒 :R-22 5.8kg 送風電動機出力 :0.35kw ケースヒーター :0.65kw 設計圧力 :H3.0Mpa L1.3Mpa

点検設備等名称	詳細
24.自動制御装置 空調機周り	<p>[バリア区域内の温湿度や室圧の差圧制御を円滑に制御する装置一式である。]</p> <p>メーカー : (株)山武 型式 : 中央監視装置Savic-netEV Model110 他空気調和機等空調機廻り設備機器全般</p> <p>設置年 : 1995年 主な制御内容: 中央監視制御、給気温度制御、給気加湿制御、給気除湿制御、プレヒーター制御、室内外差圧制御、MD手動開閉操作他。</p>
蒸気周り	<p>[バリア区域内の湿度を加湿蒸気により安定させる蒸気圧力制御装置である。]</p> <p>メーカー : (株)山武 型式 : 中央監視装置Savic-netEV Model110 蒸気発生器廻り設備機器全般</p> <p>設置年 : 1995年 主な制御内容: 蒸気圧力制御(蒸気発生器一次側・二次側の比例制御)、熱源廻り制御、覆水回収タンク液面レベル制御、煤煙濃度監視、感震器制御他</p>
その他	<p>[バリア区域内の温湿度をチラー運転による冷水で安定させ、またファンコイル、オイルタンクその他の機器の制御である。]</p> <p>メーカー : (株)山武 型式 : 中央監視装置Savic-netEV Model110 冷凍機チラーによる冷房・除湿他、ファンコイル等設備機器全般</p> <p>設置年 : 1995年 主な制御内容: 給気温度制御、冷暖房切り替え、ファンコイル発停制御、フィルター制御、オイルタンク廻り制御</p>
25. ルーフドレン ヒーター	<p>[冬季、屋上滞留水を排水するルーフドレン内が凍結しないよう加熱する設備である。]</p> <p>メーカー : 松下電工(株) 型式 : DR2322×13台</p>
26. 非常用発電機 PG200LY	<p>[低線量設備の非常用予備電源として使用される設備である。]</p> <p>メーカー : 三菱電機(株) 型式 : 円筒横軸回転界磁形 6D22-T 形式 : HS-150E 12セル 4サイクル、三相交流、水冷、直列</p> <p>規格 : JEC-114 JEM-1354 製造番号 : QWKHYMA 消防認定番号: 03L125E 製造年月 : 1994年12月 エンジン始動 : 起動後電圧確立10秒以内 定格出力 : 185KVA(148KW) 定格容量(1時間率): 90Ah 力率 : 0.8 回転数 : 1500rpm 総排気量 : 11.149L 燃料 : 軽油 燃料タンク容量 : 90L 自家発電設備合格証: MYDO-09-1089</p>

点検設備等名称	詳 細
27. 分電盤等	<p>[キュービクルから低圧で受電し、各負荷機器へ安定させて給電するための設備である。]</p> <p>メーカー : 東和電機工業(株)</p> <p>型式名称 : 分電盤</p> <p>主な対象設備 : LP-1動力分電盤、LP-1電灯分電盤、L-1電灯分電盤、 No.1チラー電源盤、No.2チラー電源盤、P-1動力制御盤P-2、 動力制御盤、熱源自動制御盤、ダンパー手元操作盤、 空調自動制御盤、中央監視盤、警報盤、調光盤、火報盤、 屋外ボイラ室計装盤、屋外ボイラ室電灯コンセント盤、 放送用端子盤、屋外給水タンク室電源・警報盤、 有資源循環処理機電源盤、プレハブ実験棟増設盤他</p> <p>平成30年7月18～26日 動物室2 照明器具安定器及び調光盤コントローラ交換</p>
28. キュービクル	<p>[商用電源を高圧でキュービクルに受電し、低圧の3相及び単相に変成して各分電盤へ安定させて給電するための設備である。]</p> <p>メーカー : 東和電機工業(株)</p> <p>型式名称 : 変電設備 高低圧配電盤</p> <p>DWG.No. : TA3-CB582-01C01</p> <p>設置年 : 1995年</p> <p>高圧受電盤 : 電力(夏160Kw、冬100Kw以下)、電圧6450±150V 電流16A以下</p> <p>高圧コンデンサ盤</p> <p>低圧電灯盤 : 電圧管理値(100～105V/200～205V) 電流過負荷保護装置設定値230A、油温度70℃以下</p> <p>低圧動力盤 : 電圧管理値200～210V 電流過負荷保護装置設定値504A、油温度70℃以下</p> <p>非常電源盤 : スコットTr50 KVA 電流150A以下、油温度70℃以下</p>
29. 温水器 洗浄室	<p>[更衣室、実験室及び研究室において、安定した温度の温水を供給する設備である。]</p> <p>メーカー : (株)日本イトミック</p> <p>型式 : ES-40N×1台</p> <p>貯湯量 : 40L</p>
実験室1 検査室、給湯室	<p>メーカー : (株)日本イトミック</p> <p>型式 : ES-30N×3台</p> <p>貯湯量 : 30L</p>
男女脱衣室 検疫脱衣室	<p>メーカー : (株)日本イトミック</p> <p>型式 : ES-20N×3台</p> <p>貯湯量 : 20L</p>

点検設備等名称	詳細																
30. 洗浄機	<p>[飼育器材の洗浄に用いる設備である。]</p> <p>メーカー : 清和産業(株)</p> <p>型式 : SW-RTS-180型 高圧蒸気滅菌器</p> <p>納入年月 : 1995年2月</p> <p>製造番号 : K-694</p> <p>※洗浄機自体の定期点検はメーカーで直に実施するが、蒸気配管スチームトラップ及び仕切り弁等の漏洩点検を行なう。</p>																
31. 高圧蒸気滅菌器	<p>[飼育器材の滅菌に用いる設備である。]</p> <p>メーカー : (株)ウドノ医機</p> <p>型式 : MSC-HP-7W 高圧蒸気滅菌器</p> <p>製造年月 : 1995年2月</p> <p>照会番号 : 70305</p> <p>医療用承認番号 : 04B第0497号</p> <p>医療用製造許可番号 : 2083号</p> <p>※第一種圧力容器(番号 東125395)</p>																
32. 照明器具	<p>[管理区域内、モニター室、ボイラ機械室、洗浄室、検査室、実験室等、建屋内と有資源処理機室等の屋外を含む施設全般の照明設備一式である。]</p> <p>メーカー : 三菱電機(株)</p> <p>型式 : 非常用ダウンライト</p> <table border="0" data-bbox="784 1029 1277 1379"> <tr> <td>LDB4141</td> <td></td> </tr> <tr> <td>KV41422</td> <td>非常用逆富士形蛍光灯</td> </tr> <tr> <td>WV4052</td> <td>防雨逆富士形蛍光灯</td> </tr> <tr> <td>K2442</td> <td>下面開放埋め込み形蛍光灯</td> </tr> <tr> <td>FH4542</td> <td>反射笠形蛍光灯</td> </tr> <tr> <td>KSH2151</td> <td>避難口誘導灯</td> </tr> <tr> <td>GHW521</td> <td>殺菌灯</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> </tr> </table> <p>使用開始年度 : 平成7年</p> <p>平成30年7月18～26日 動物室2 照明器具安定器及び調光盤コントローラ交換</p> <p>令和元年12月4日～令和2年1月9日 動物室1、動物室3、動物室4 照明器具安定器及び調光盤コントローラ交換</p>	LDB4141		KV41422	非常用逆富士形蛍光灯	WV4052	防雨逆富士形蛍光灯	K2442	下面開放埋め込み形蛍光灯	FH4542	反射笠形蛍光灯	KSH2151	避難口誘導灯	GHW521	殺菌灯		その他
LDB4141																	
KV41422	非常用逆富士形蛍光灯																
WV4052	防雨逆富士形蛍光灯																
K2442	下面開放埋め込み形蛍光灯																
FH4542	反射笠形蛍光灯																
KSH2151	避難口誘導灯																
GHW521	殺菌灯																
	その他																
33. 除雪機	<p>[冬季、点検通路の確保に用いる装置である。]</p> <p>メーカー : ホンダ</p> <p>型式 : HS13902</p> <p>馬力 : 13馬力</p> <p>使用燃料 : 自動車用無鉛ガソリン</p> <p>燃料タンク容量 : 6L</p>																
34. トップライト (2か所)	<p>[明かりとり及び排煙装置カバーである。]</p> <p>アウタードーム: 角90型、乳白色</p> <p>インナードーム: 透明</p> <p>6.8鋼入ガラス: カスマクロスワイヤー</p>																
35. 地下ピット	<p>[給・排水配管点検用の空間である。]</p> <p>給水用配管: 15A～25A</p> <p>排水用配管: 25A～60A</p>																

本館 主要設備一覧

点検設備等名称	詳 細									
1. 吸収冷温水機	<p>[本館各ファンコイルに冷水・温水を供給する冷暖房設備である。]</p> <p>メーカー: Panasonic(旧Sanyo) 型式: AUW-HS180E1K 製造年月: 2002年1月 製造No.: 81425087</p> <p>冷媒液: 水 吸収液: 臭化リチウム 冷凍能力: 633 KW 加熱能力: 547 KW 燃料消費量 冷房: 56.7 ㍓/h 燃料消費量 暖房: 58.5 ㍓/h</p>									
2. パッケージエアコン	<table border="0"> <tr> <td data-bbox="438 801 910 1120"> AC-3 メーカー: 日立 型式: RPI-125AL6S 製造年月: 1992年4月 製造No.: U4AA4827 </td> <td data-bbox="910 801 1707 1120"> AC-7 メーカー: 日立 型式: RPI-100AL6S 製造年月: 1992年10月 製造No.: U4AV8276 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1120 910 1439"> AC-4-1 メーカー: 日立 型式: RPI-125AL6S 製造年月: 1992年10月 製造No.: U4AX2077 </td> <td data-bbox="910 1120 1707 1439"> AC-4-2 メーカー: 日立 型式: RPI-125AL6S 製造年月: 1992年10月 製造No.: U4AX2078 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1439 910 1759"> AC-5-1 メーカー: 日立 型式: RPI-125AL6S 製造年月: 1992年10月 製造No.: U4AX2105 </td> <td data-bbox="910 1439 1707 1759"> AC-5-2 メーカー: 日立 型式: RPI-125AL6S 製造年月: 1992年10月 製造No.: U4AX2106 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1759 910 2189"> AC-6 メーカー: 日立 型式: RPI-100AL6S 製造年月: 1992年10月 製造No.: U4AV8275 </td> <td data-bbox="910 1759 1707 2189"></td> </tr> </table>		AC-3 メーカー: 日立 型式: RPI-125AL6S 製造年月: 1992年4月 製造No.: U4AA4827	AC-7 メーカー: 日立 型式: RPI-100AL6S 製造年月: 1992年10月 製造No.: U4AV8276	AC-4-1 メーカー: 日立 型式: RPI-125AL6S 製造年月: 1992年10月 製造No.: U4AX2077	AC-4-2 メーカー: 日立 型式: RPI-125AL6S 製造年月: 1992年10月 製造No.: U4AX2078	AC-5-1 メーカー: 日立 型式: RPI-125AL6S 製造年月: 1992年10月 製造No.: U4AX2105	AC-5-2 メーカー: 日立 型式: RPI-125AL6S 製造年月: 1992年10月 製造No.: U4AX2106	AC-6 メーカー: 日立 型式: RPI-100AL6S 製造年月: 1992年10月 製造No.: U4AV8275	
AC-3 メーカー: 日立 型式: RPI-125AL6S 製造年月: 1992年4月 製造No.: U4AA4827	AC-7 メーカー: 日立 型式: RPI-100AL6S 製造年月: 1992年10月 製造No.: U4AV8276									
AC-4-1 メーカー: 日立 型式: RPI-125AL6S 製造年月: 1992年10月 製造No.: U4AX2077	AC-4-2 メーカー: 日立 型式: RPI-125AL6S 製造年月: 1992年10月 製造No.: U4AX2078									
AC-5-1 メーカー: 日立 型式: RPI-125AL6S 製造年月: 1992年10月 製造No.: U4AX2105	AC-5-2 メーカー: 日立 型式: RPI-125AL6S 製造年月: 1992年10月 製造No.: U4AX2106									
AC-6 メーカー: 日立 型式: RPI-100AL6S 製造年月: 1992年10月 製造No.: U4AV8275										

点検設備等名称	詳 細		
3. クリーンルーム	クリーンルーム(1)-1・(1)-2・(1)-3		
	形式	空冷式(年間冷房)C-30N2 電圧	200V
	循環送風機	0.4KW × 3台	加湿器形式 電熱式/パン型 KP-701
	空冷式凝縮機ファン	70W × 3台	加湿能力 1.3L/h × 3台
	圧縮機	2.2KW × 3台	加湿器容量 1KW × 3台
	電気ヒーター	3.5KW × 3台	加湿器製造者 ピーエス工業
	冷房能力	6300Kcal/h × 3台	暖房能力 9030Kcal/h
	冷媒	R-22	
	クリーンエアコン製造者	日立	
	クリーンルーム(2)-1・(2)-2		
	形式	空冷式(年間冷房)C-30N2 電圧	200V
	循環送風機	0.4KW × 2台	加湿器形式 電熱式/パン型 KP-701
	空冷式凝縮機ファン	70W × 2台	加湿能力 1.3L/h × 2台
	圧縮機	2.2KW × 2台	加湿器容量 1KW × 2台
	電気ヒーター	3.5KW × 2台	加湿器製造者 ピーエス工業
	冷房能力	6300Kcal/h × 2台	暖房能力 9030Kcal/h
	冷媒	R-22	
	クリーンエアコン製造者	日立	
	クリーン実験室(1)		
	形式	空冷式(年間冷房)C-15N2 電圧	200V
	循環送風機	0.3KW	加湿器形式 電熱式/パン型 KP-701
	空冷式凝縮機ファン	20W	加湿能力 1.3L/h
	圧縮機	1.1KW	加湿器容量 1KW
	電気ヒーター	2.0KW	加湿器製造者 ピーエス工業
	冷房能力	2600Kcal/h	暖房能力 1720Kcal/h
	冷媒	R-22	
	クリーンエアコン製造者	日立	
	クリーン実験室(2)-1・(2)-2		
	形式	空冷式(年間冷房)C-15N2 電圧	200V
	循環送風機	0.3KW × 2台	加湿器形式 電熱式/パン型 KP-701
	空冷式凝縮機ファン	20W × 2台	加湿能力 1.3L/h × 2台
	圧縮機	1.1KW × 2台	加湿器容量 1KW × 2台
	電気ヒーター	2.0KW × 2台	加湿器製造者 ピーエス工業
	冷房能力	2600Kcal/h × 2台	暖房能力 1720Kcal/h × 2台
	冷媒	R-22	
	クリーンエアコン製造者	日立	

点検設備等名称	詳 細	
3. クリーンルーム	<p>前室(1)・(2)</p> <p>形式 空冷式(年間冷房)C-15N2 電圧 200V</p> <p>循環送風機 0.3KW × 2台 加湿器形式 電熱式/パン型 KP-701</p> <p>空冷式凝縮機ファン 20W × 2台 加湿能力 1.3L/h × 2台</p> <p>圧縮機 1.1KW × 2台 加湿器容量 1KW × 2台</p> <p>電気ヒーター 2.0KW × 2台 加湿器製造者 ピーエス工業</p> <p>冷房能力 2600Kcal/h × 2台 暖房能力 1720Kcal/h × 2台</p> <p>冷媒 R-22</p> <p>クリーンエアコン製造者 日立</p> <p>外気処理フィルターユニット</p> <p>方式 天井吊形 電圧 200V</p> <p>電動機容量 1.2KW 周波数 50Hz</p> <p>クリーンルーム外気除湿処理装置</p> <p>電圧 200V 周波数 50Hz</p> <p>冷凍機冷凍能力 15KW × 2台 加熱機 加熱能力 20KW × 1台</p> <p>冷凍機電動機出力 0.35KW × 2台 加熱機 電力 20KW</p> <p>冷凍機 送風機容量 0.085KW × 4台 冷凍機 圧縮機容量 3.5KW × 2台</p>	
4. ポンプ機器	<p>冷却水ポンプモーター CDP-1 125 × 100FS4KC518</p> <p>出力 18.5KW 電流 71A</p> <p>電圧 200V 絶縁階級 B種</p> <p>極数 4極 製造番号</p> <p>回転数 1455r/min BRG OS/LS 6210ZZ/6310ZZ</p> <p>周波数 50Hz 製造者 東芝</p> <p>一次冷温水ポンプモーター CHP-5 100 × 80FS2F57.5</p> <p>出力 7.5KW 電流 28.6A</p> <p>電圧 200V 絶縁階級 B種</p> <p>極数 2極 製造番号 10315195</p> <p>回転数 2900r/min BRG OS/LS 6208VV/6308VV</p> <p>周波数 50Hz 製造者 東芝</p> <p>二次冷温水ポンプモーター CHP-4 80 × 65FS2F53.7</p> <p>出力 3.7KW 電流 14.8A</p> <p>電圧 200V 絶縁階級 E種</p> <p>極数 2極 製造番号 12527944</p> <p>回転数 2890r/min BRG OS/LS 6206VV/6207VV</p> <p>周波数 50Hz 製造者 東芝</p>	

点検設備等名称	詳		細	
4. ポンプ機器	1F二次冷温水ポンプモーター CHP-1 JL65P2-53.7F			
	出力	3.7KW	電流	14.5A
	電圧	200V	絶縁階級	E種
	極数	2極	製造番号	H92887991
	回転数	3000r/min	BRG OS/LS	6306VV × 2
	周波数	50Hz	製造者	日立
	2F二次冷温水ポンプモーター CHP-2 JL50N2-51.5F			
	出力	1.5KW	電流	6.3A
	電圧	200V	絶縁階級	E種
	極数	2極	製造番号	H92887972
	回転数	3000r/min	BRG OS/LS	6205VV/6305VV
	周波数	50Hz	製造者	日立
	3F二次冷温水ポンプモーター CHP-3 JL50P2-52.2F			
	出力	2.2KW	電流	8.8A
	電圧	200V	絶縁階級	E種
	極数	2極	製造番号	H92887981
	回転数	300r/min	BRG OS/LS	6205VV/6305VV
	周波数	50Hz	製造者	日立
	床暖用温水ポンプモーター HP-2 JL50N2-51.5F			
	出力	1.5KW	電流	6.3A
	電圧	200V	絶縁階級	E種
	極数	2極	製造番号	H92887971
	回転数	3000r/min	BRG OS/LS	6205VV/6305VV
	周波数	50Hz	製造者	日立
	スクラパー循環ポンプモーター (3台)			
	出力	1.5KW	電流	5.7A
	電圧	200V	絶縁階級	E種
	極数	2極	製造番号	M1121359Y04
	回転数	2900r/min	BRG OS/LS	6205VV/6207VV
	周波数	50Hz	製造者	KYOWA
	オイルキアポンプ (2台)			
	出力	0.4KW	電流	2.3A
	電圧	200V	絶縁階級	E種
	極数	4極	製造番号	D158713
	回転数	1420r/min	BRG OS/LS	6203ZZ × 2
	周波数	50Hz	製造者	日立

点検設備等名称	詳		細	
5. ファン機器	給気ファンモーター	ストレートシロッコファン(BFS-53KTA-50)		
	出力	3.7KW	電流	15A
	電圧	200V	絶縁階級	E種
	極数	4極	製造番号	F97100943
	回転数	1430r/min	BRG OS/LS	6206ZZ/6207ZZ
	周波数	50Hz	製造者	三菱
	無処理排気ファンモーター	ストレートシロッコファン(BFS-38GT-50)		
	出力	1.5KW	電流	6.8A
	電圧	200V	絶縁階級	E種
	極数	4極	製造番号	B92200827
	回転数	1420r/min	BRG OS/LS	6204ZZ/6205ZZ
	周波数	50Hz	製造者	三菱
	スクラパーファン (3台)			
	出力	3.7KW	電流	14.5A
	電圧	200V	絶縁階級	B種
	極数	4極	製造番号	B146392
	回転数	1450r/min	BRG OS/LS	6306VV × 2
	周波数	50Hz	製造者	日立
	機械室給気ファンモーター			
	出力	0.75KW	電流	1.4A
	電圧	200V	絶縁階級	E種
	極数	4極	製造番号	9212
	回転数	—	BRG OS/LS	—
	周波数	50Hz	製造者	三菱
機械室排気ファンモーター				
出力	0.75KW	電流	1.4A	
電圧	200V	絶縁階級	E種	
極数	4極	製造番号	9212	
回転数	—	BRG OS/LS	—	
周波数	50Hz	製造者	三菱	
ELV排気ファンモーター				
出力	25W	電流	0.5A	
電圧	100V	絶縁階級	E種	
極数	4極	製造番号	9106	
回転数	—	BRG OS/LS	—	
周波数	50Hz	製造者	三菱	

点検設備等名称	詳	細
5. ファン機器	冷却塔ファン (2台) 出力 電圧 極数 回転数 周波数	形式 SKB-210GR 3.7KW 200V 4極 395r/min 50Hz
		電流 14.6A 絶縁階級 E種 製造番号 ASF02-0390 BRG OS/LS 6206ZZ/6207ZZ 製造者 三菱
	機器分析前処理室ドラフト排気ファン	
6. ファンコイル	総計62台	
7. ロスナイ	LGH-15C/S LGH-25C/S LGH-50C/S LGH-25RMP/25RS LGH-80RMP/80RS	12台 12台 4台 2台 2台 総計32台
8. 天井換気扇	総計12台	
9. 本館キュービクル	VC-6319 高圧受電盤 高圧コンデンサ盤 低圧動力盤 低圧電灯盤	
10. 分電盤	1L-1 電灯盤 (1F廊下) 1P-1 動力盤 (1F廊下) 1L-A 電灯盤 (水試料前処理室) 1LP-B 動力・電灯盤 (環境試料前処理室) 1L-C 動力・電灯盤 (放射化学・分析室) 1L-D 電灯盤 (放射能測定器室) 1CP-1 エアコン制御盤 (放射能測定器室 AC-3) 2L-1 電灯盤 (2F廊下) 2LP-A 動力・電灯盤 (作業員休憩室) 2LP-B 動力・電灯盤 (備品保管室) 増設盤-2 動力・電灯盤 (研究員居室) 2L-C 電灯盤 (機器分析室(2)) 2LP-D 動力・電灯盤 (研究員居室) 増設盤-1 動力・電灯盤 (保健室) 2L-E 電灯盤 (低温実験室) 2L-F 電灯盤 (機器分析室(1)) 2L-G 動力・電灯盤 (機器分析室(1)) 2CP-1 エアコン制御盤 (機器分析室(2) AC-7) 2CP-2 エアコン制御盤 (研究員居室 AC-4-1,2) 2CP-3 エアコン制御盤 (機器分析室(1) AC-5-1,2) 2CP-4 エアコン制御盤 (機器分析室(1) AC-6) 3L-1 電灯盤 (3F廊下) 3LP-A 動力・電灯盤 (クリーンルーム)	

点検設備等名称	詳 細	
10. 分電盤	3LP-B 動力・電灯盤 クリーンルーム制御盤 除湿装置制御盤 4L-1 電灯盤 4P-1 動力盤 4CP-1 エアコン制御盤 4CP-A 外調機制御盤 外調機ヒーター制御盤 5L-1 電灯盤 CVCF 分岐盤 廃液貯留槽棟分電盤 警報盤	(図書・情報処理室) (クリーンルーム) (クリーンルーム) (4F廊下) (4F機械室) (4F機械室) (4F機械室) (4F機械室) (4F機械室) (5F廊下) (P. H 無停電機械室) (1F別棟) (1F技術・安全室)
11. 照明設備	FLR40系照明器具 FL20系照明器具 FDL18系照明器具 HF250系照明器具 FL10系照明器具 LW60系照明器具	894本分 70本分 21台 16台 27台 3台
12. 重油タンク	液量自動表示装置 マンホール 通気管 漏洩検知管 送油管 返油管 各種表示 消火器	OL-42型 WPMK-70AW WPMK-80AW LDH-34W LD-S PAN-10EH(Ⅲ)
13. 電気温水器	1F 2F 3F	女子トイレ 男子トイレ 理科実験準備室 放射化学分析室(実験台) 放射化学分析室(窓側) 環境試料前処理室 女子トイレ 男子トイレ 女子トイレ 男子トイレ
14. サーモパネルヒーター	1F 2F 3F	女子トイレ 男子トイレ 身障者トイレ 女子トイレ 男子トイレ 女子トイレ 男子トイレ

点検設備等名称	詳	細
15. 冷温水膨張タンク		
16. 高架水槽	容量	:4700L×1台
17. 受水槽	容量	:1500L×1台
18. 各ヘッダー及び配管		
19. 感震装置		
20. 薬注装置		
21. ドラフト	型式:OS-AR-18SR 6台 1階 放射化学分析室 4台 2階 機器分析前処理室 2台	型式:LDP-N180S 1台 1階 環境試料前処理室 1台
22. 特別高圧 受変電設備	ガス絶縁開閉装置 計器用変成器(VCT) 負荷時タップ切換変圧器(主変圧器) 直流電源装置盤 特高操作盤 所内盤 主変二次盤 生態系実験施設・低線量生物影響実験施設盤 本館・全天候型人工気象実験施設盤 ケーブル類 照明設備(室内・室外) 空調設備(エアコン) その他の設備	ガス絶縁開閉器(GIS)ガス圧力 ガスしゃ断器(GCB)ガス圧力 タップ切換装置 絶縁油レベル 本体温度 本体用・切換器室用呼吸器 モールド変圧器温度 210V回路 105V回路 生態系実験施設 低線量生物影響実験施設 本館 全天候型人工気象実験施設 建屋 排水ピット ケーブルピット フェンス 施錠装置 表示札 消火器箱 その他

	点検機器 (場所)	台数	点検作業項目及び内容	回数		
				毎日	週	月
1	中央監視機構 (モニター室)		④状態等点検確認作業(許容範囲内に調整) 温度設定 照射室2室温設定 動物室2室温設定 ACU-1,2プレヒーター温度設定 熱源タンク 覆水回収タンク水量HI/LO オイルタンク油量HI/LO 油サービスタンク油量HI/LO 蒸気発生器圧力HI/LO フィルター ACU-1,2(高、中、塩、ロール) AFR-1,2(高、中、臭) SF-1(塩) グラフ表示 照射室1,2,3温湿度変動 動物室1,2,3,4温湿度変動 検疫室温湿度変動 清浄準備室温度変動 清浄作業室温度変動 給気・給気露点温度変動 プレヒーター出口温度変動 ファンコイル送水温度変動 ACU-1,2冷温水温度変動 温水ボイラー水温変動 冷却チラー水温変動	2 2		
2	警報盤 (モニター室)	1	①表示灯の状態点検確認作業(警報発生時は対処) ②異音、異臭、過熱等の異常の有無点検確認作業 盤内部外観点検確認 開閉器動作状態 断線他異常の有無	2 2	1	1
3	調光盤 調光盤プログラム 動物室照明監視用アンペアメーター (モニター室)	1	①異常の有無点検確認作業 時計の遅れ、進み等異常の有無 異音、異臭、過熱等異常の有無 盤内部外観点検確認 開閉器動作状態 ②状態等点検確認作業 動物室、検疫室、照射室調光スイッチ位置 動作ランプ点灯、動物室照明電流計指針位置 手動出力切り替えスイッチ位置	1 1 1 2 2 2	1	
4	放送設備 放送用端子盤 (モニター室)	1	点検確認作業 室内定期清掃時は館内放送設備使用 盤内部外観点検確認 断線他異常の有無 館内放送設備切り替えスイッチ位置 マイク設備設置位置			1 1 1 1 1
5	防災監視盤 (モニター室)	1	点検確認作業(火報発報時は対処) 各ランプの状態 液晶タッチパネルの作動状態	1 1		

	点検機器 (場所)	台数	点検作業項目及び内容	回数		
				毎日	週	月
6	ファンコイル (洗浄室、廊下)	6	①点検確認作業 冷・温風の吹き出し状態 異音、異臭、漏水等異常の有無 ②器具の取付状態点検確認作業 ③その他各部品点検(フィルター点検清掃作業)	2 2		1回/3月 1回/3月
7	更衣室等微差圧計 (男女脱衣室、検査室、 検査室脱衣室、 照射室1・2・3、清浄作業室)	8	指示値陽圧確認、記録作業 室圧の差圧調整作業(許容範囲を維持)	1	必要の都度	
8	トップライト (玄関、洗浄室及び屋上)	2	動作機能点検、駆動部異常の有無点検確認作業			1
9	電気パネルヒーター (トイレ、駆動機械室)	5	点検確認作業 サーモスタット制御動作の確認 各表示ランプの状態 外観・周囲の状況等異常の有無 設置状態等異常の有無 温度過昇防止器の異常の有無 電源プラグ・コードの損傷、断線等異常の有無			1 1 1 1 1 1
10	LP-1動力盤 (プレハブ通路)	1	点検確認作業 表示灯による異常の有無 異音、異臭、過熱等異常の有無 盤内部外観点検確認 開閉器動作状態 断線他異常の有無	2 2 2	1	1
11	LP-1電灯分電盤 (プレハブ通路)	1	点検確認作業 表示灯による異常の有無 異音、異臭、過熱等異常の有無 盤内部外観点検確認 開閉器動作状態 断線他異常の有無	2 2 2	1	1
12	研究室等分電盤 (プレハブ通路)	1	点検確認作業 ブレーカー等異常の有無 盤内部外観点検確認 断線他異常の有無	2 2		1
13	モニター室、洗浄室等エアコン <冷房扇> (モニター室、洗浄室、検査室、 実験室1、作業員室、研究室)	6	①室内外機巡視点検(夜間運転休止確認を含む) ②フィルター点検清掃作業 ③室内機・室外機の外観点検作業 ④室内機・室外機の制御ボックス内部点検作業 ⑤リモートコントロールスイッチの機能点検確認作業 ⑥冷媒配管等の外観点検作業 ⑦空気吸込み口・吹出し口の状態点検作業 ⑧室外機冷却ファン異音・振動の有無	1		1 1 1 1 1 1 1

	点検機器 (場所)	台数	点検作業項目及び内容	回数		
				毎日	週	月
20	L1電灯分電盤 (ボイラ室)	1	点検確認作業 表示灯による異常の有無 異音、異臭、過熱等異常の有無 盤内部外観点検確認 開閉器動作状態 断線他異常の有無	2 2 2	1	1
21	温水ボイラ (ボイラ室)	2	①点検記録作業 温水圧力(入口、出口) 温水温度(入口、出口) ②点検確認調整作業 リンゲルマン煤煙濃度確認と調整 温水及び燃料系統の漏洩の有無 指示計器類の異常の有無 異音、振動、過熱、異臭等異常の有無 自動制御機能及び燃焼状態の良否 オイルクリーナー汚れ状態 マイコンコントローラー各種表示 保炎板、点火電極、ノズル等清掃 ③温水ボイラのバックアップ系統運転確認	2 2 2 2 2 2 2 2 2	1	1 1
22	冷水膨張タンク <第2種圧力容器> (ボイラ室)	1	点検確認作業 膨張タンク圧力 汚れ、漏洩、損傷等外観異常の有無 安全弁外観異常の有無 第2種圧力容器定期自主検査記載項目点検	1 1 1		1
23	冷水クッションタンク (ボイラ室)	1	周囲を含む汚れ、漏洩の有無の点検確認作業	1		
24	冷水ポンプ (ボイラ室)	2	①点検確認作業 ポンプ出口圧力 グラウンド部、カップリング部の異常の有無 異音、振動、過熱、異臭、漏洩等異常の有無 ②測定・点検作業 振動測定、温度測定 カップリングボルト点検 グラウンド増締め、増入れ	2 2 2		1 1 1
25	自動薬注器 (ボイラ・空調機室)	5	薬液量調整と補充、漏洩の有無の点検確認作業	1		
26	自動軟水機 (ボイラ・空調機室)	5	①検水状態点検(硬度判定)、手動再生(適時) ②塩の状態、残量点検確認及び補充作業 ③点検確認作業 電磁弁等動作状態、漏洩、異臭等の有無	1 2 1		

	点検機器 (場所)	台数	点検作業項目及び内容	回数		
				毎日	週	月
27	蒸気発生器 <第1種圧力容器> (ボイラ室)	1	点検確認作業 一次・二次圧力及び水位 損傷、汚れ、漏洩、安全弁等外観異常の有無 締付ボルトの磨耗、管・弁の損傷の有無 水質検査	2 2		1 1回/3月
28	蒸気ボイラ (ボイラ室)	2	①点検確認作業 リングルマン煤煙濃度確認と調整 蒸気及び燃料系統の漏洩の有無 指示計器類読み取り、異常の有無 異音、振動、過熱、異臭等異常の有無 自動制御装置表示読み取り、異常の有無 ②缶水処理点検確認作業 缶水全ブロー(自動制御装置指示) pH測定 缶水水質検査試料サンプリング(メーカーへ発送) ③点検清掃作業 ・給油ストレーナ、バーナー、炎検出器受光部、 保護ガラス ・噴射ポンプ、フィルター、液面電極棒、 ・給水加熱器洗浄	2 2 2 2 1 1	1 3	1 1 1
29	覆水回収タンク (ボイラ室)	1	点検確認作業 水位確認 汚れ、損傷、漏洩等外観異常の有無 オーバーフロー等異常の有無 本体給水系統電動弁異常の有無 覆水出口弁等異常の有無 液面計ガラス管の汚れ、損傷、漏洩等の有無 蒸気覆水配管の異常の有無	2 1 1 1 1 1		1
30	自動ブロー装置 (ボイラ室)	1式	①点検確認作業 ミニマックスブロー装置の異常の有無 電磁弁作動確認及びブロー量調整 瞬間流量計の異常の有無 センサーの異常の有無 クリオート制御機器作動状態確認 各ボルト・配管継手類の増締め等、点検確認作業 ②計器指示値判読、記録作業 自動ブロー導電率	2		1 1 1 1 1
31	油サービスタンク (ボイラ室)	1	①点検確認作業 油量(油面)制御の機能確認 汚れ、損傷、漏洩等外観異常の有無 送・返油配管の汚れ、損傷、漏洩等の有無 ②点検記録作業 重油サービスタンク液位	1 1 2		1回/3月

	点検機器 (場所)	台数	点検作業項目及び内容	回数		
				毎日	週	月
32	送(返)油ポンプ (ボイラ室)	4	①点検確認作業 ポンプ出口圧力 異音、振動、過熱、異臭、漏洩等異常の有無 ②切替ストレーナの点検清掃作業 ③振動、温度等計測記録作業 ④カップリング部点検確認作業 ⑤グランド点検確認、増締め又は増入れ作業	2 1		1 1 1 1
33	感震装置 (ボイラ室)	4	①作動テスト作業			1
34	煙道受光器 (ボイラ室)	2	①モーター異音、異臭等異常の有無の点検確認作業 ②受光面ガラスの点検清掃作業	1	1	
35	加圧給水装置 (ボイラ室)	1	①外観点検確認作業 本体給水系統漏洩の有無 ボールタップ他給水動作状態 加圧ポンプの異音、振動、過熱、異臭等の有無 外部の汚れ等異常の有無 ヒーター及びヒーター電源の異常の有無 ②内部点検確認作業(給水系統の切替) オーバーフロー等異常の有無 ボールタップ取り付けボルトの弛み脱落等の有無 ポンプ吸込み管、送水管の水漏れ等の有無 タンク底面、水位上昇面における異物付着の有無 ヒーター作動状態時の異常の有無	2 2 2 2 2		1 1 1 1 1
36	温水膨張タンク <第2種圧力容器> (ボイラ室)	1	点検確認作業 膨張タンク圧力 汚れ、漏洩、損傷等外観異常の有無 安全弁外観異常の有無 第2種圧力容器定期自主検査記載項目点検	1 1 1		1
37	温水ポンプ (ボイラ室)	2	①点検確認作業 ポンプ出口圧力 グランド部、カップリング部の異常の有無 異音、振動、過熱、異臭、漏洩等異常の有無 カップリングボルトの状態 ②振動、温度等計測記録作業 ③グランド点検確認、増締め、増入れ作業	2 2 2		1 1 1
38	煙道及び各種配管弁 (ボイラ室)	1式	点検確認作業(異常時は速やかに対処) 損傷、漏洩等外観異常の有無 電磁弁等作動状態観察 支持金具等取り付け状態観察	2 2 2		
39	ダクト、ダンパー、弁類 (ボイラ室)	1式	点検確認作業(異常時は速やかに対処) 汚れ、損傷、漏洩等外観異常の有無 電磁弁の開閉、ダンパーの開度等状態 支持金具等取り付け状態観察	2 2 2		

	点検機器 (場所)	台数	点検作業項目及び内容	回数		
				毎日	週	月
40	ヘッド (ボイラ・空調機室)	1式	温度計判読、バルブ開度、グラウンド部の洩れ、 本体・周囲の汚れ、漏洩等外観異常の有無の点検確認作業 温水ヘッド(往、返) 冷水ヘッド(往、返) 蒸気ヘッド(第2種圧力容器) 第2種圧力容器定期自主検査記載項目点検 蒸気ヘッド(第2種圧力容器)	2 2 2		1
41	P2動力制御盤 (空調機械室)	1	①計測・記録作業 照射室及び動物室系空調機電流値 同上 排気ファン電流値 ボイラ機械室給排気ファン電流値 作動時ホルマリン系給排気ファン電流値	2 2 2 2		
	P2動力制御盤 (空調機械室)		②点検確認作業 表示灯の状態 異音、異臭、過熱等の有無 盤内部外観点検確認 開閉器動作状態 断線他異常の有無	2 2 2	1	1
42	空調機自動制御盤 (空調機械室)	1	①計測・記録作業 動物室等微差圧 ②点検確認作業 異音、異臭、過熱等の有無、開閉器の動作状態 表示灯、通信コントローラー(IDGP・IDC)の状態 盤内部外観点検確認 断線他異常の有無	2 2 2 2		1
43	ダンパー手元操作盤 (空調機械室)	1	点検確認作業 異音、異臭、過熱等異常の有無 手元スイッチの状態 盤内部外観点検確認 断線他異常の有無	2 2 2		1
44	動物室排気チャンバー (空調機械室)	4	点検確認作業 汚れ、損傷、漏洩、異音、異臭等異常の有無 ダンパー開度	2 2		
45	外気処理ユニット (空調機械室)	1	①微差圧確認・記録作業 ②汚れ、損傷、漏洩等外観異常の有無 ③フィルターおよび熱交換コイル等異常の有無 ④外気処理ユニット内部点検	2 2		1 1
46	照射室系空調機 <含む送風機2台> (空調機械室)	1式	①計測・記録作業 冷・温水出入口圧力 冷・温水出入口温度 フィルター部差圧	2 2 2		

	点検機器 (場所)	台数	点検作業項目及び内容	回数		
				毎日	週	月
46	照射室系空調機 <含む送風機2台> (空調機械室)		②点検確認作業(異常時は速やかに対処) 汚れ、損傷、異音、振動等異常の有無 Vベルトの状態 ロールフィルター室内点検 給気口の除雪 ③振動、温度測定作業 ④軸受部点検給油作業 ⑤ストロボ回転計を用いたVベルトの状態点検確認作業	2 2 冬期		1 1 1 1
47	照射室系排気ファン (空調機械室)	2	①点検確認作業(異常時は速やかに対処) 異音、異臭、振動、過熱、漏洩、損傷等の有無 ②軸受部点検給油作業 ③ストロボ回転計を用いたVベルトの状態点検確認作業 ④振動、温度測定作業	2		1 1 1
48	照射室系脱臭装置 (空調機械室)	1	①フィルター部差圧の測定・記録作業 ②汚れ、損傷等外観異常の有無の点検確認作業	2 2		
49	自動純水処理装置 (空調機械室)	1式	①振動、温度、騒音、異臭他の点検確認作業 ②配管系統漏洩他外観点検確認作業 ③圧力計他各部点検確認作業(採水水質点検含む) ④純水タンクレベル、設定温度点検確認作業 ⑤給水ポンプの異常の有無の点検確認作業 ⑥各ボルト・配管継手類の増締め点検確認作業 ⑦薬品補充及び消耗部品の交換	2 2 2 2 2		1 必要の都度
50	動物室系空調機 <含む送風機2台> (空調機械室)	1式	①計測・記録作業 冷・温水出入口圧力 冷・温水出入口温度 フィルター部差圧 ②点検確認作業(異常時は速やかに対処) 異音、異臭、振動、過熱、漏洩、損傷等の有無 Vベルトの状態 ロールフィルター室内点検 給気口の除雪 ③振動、温度測定作業 ④軸受部点検給油作業 ⑤ストロボ回転計を用いたVベルトの状態点検確認作業	2 2 2 2 2 冬期		1 1 1 1
51	動物室系排気ファン (空調機械室)	2	①点検確認作業(異常時は速やかに対処) 汚れ、損傷等異常の有無、Vベルトの状態 異音、異臭、振動、過熱、漏洩等異常の有無 ②軸受部点検給油作業 ③ストロボ回転計を用いたVベルトの状態点検確認作業 ④振動、温度測定作業	2 2		1 1 1
52	動物室系脱臭装置 (空調機械室)	1	①フィルター部差圧の測定、記録作業 ②汚れ、損傷等外観異常の有無の点検確認作業	2 2		

	点検機器 (場所)	台数	点検作業項目及び内容	回数		
				毎日	週	月
53	給・排気ファン (洗浄室、ワッシャー、 ホルマリン系、ボイラ室)	7	①点検確認作業(異常時は速やかに対処) 汚れ、損傷等異常の有無、Vベルトの状態 異音、異臭、振動、過熱、漏洩等異常の有無 ②軸受部点検給油作業 ③ストロボ回転計を用いたVベルトの状態点検確認作業 ④振動、温度等計測・記録作業 ⑤給・排気ファン点検整備(ボイラ室・空調室換気扇) ⑥ホルマリン系フィルターユニット 汚れ、損傷、漏洩等外観異常の有無	2 2		1 1 1 1 1
54	給水タンク (屋外)	1式	①NO1, 2タンク変形、ヒビ割れ他外観点検確認作業 ②給水系統の漏水他外観点検確認作業 ③振動、温度、騒音、異臭他点検確認作業 ④タンク水面計、圧力計他点検確認作業 ⑤各ボルト・配管継手類の増締め点検確認作業 ⑥異常発生時は水道水直結へ切替	2 2 2 2 異常時		1
55	給排気口 (屋外)	1式	①点検確認作業 金網汚れ、目詰まり、損傷等外観異常の有無 異音、異臭等異常の有無 ②金網点検清掃・洗浄作業	1 1		1回/2月
56	排水薬注処理装置 (屋外)	1式	①計器指示値判読、記録作業(pH・ORP値) ②電源管理巡視点検確認作業 ③pH・ORP電極清掃 ④排水処理薬品の補充	1	1 1	必要の都度
57	温湿度計 (屋外)	1	①温・湿度測定、記録作業(百葉箱) ②百葉箱損傷の有無の点検確認作業	2 2		
58	灯油タンク (屋外)	4	①汚れ、損傷、漏洩等外観異常の有無の点検確認作業 ②油残量・分離水確認、水抜き作業	1	2	
59	重油タンク (屋外)	1	①点検確認作業 オイルフェンスの亀裂、損傷等外観異常の有無 オイルタンク亀裂、漏洩等外観異常の有無 指示計器の異常の有無 ②オイル残量の点検確認・記録作業 ③オイルフェンス排水ピットバルブ開閉作業 ④オイル配管発錆、損傷、漏洩等の有無の点検確認作業	2 2 2 2 雨天時 2		
60	油水分離槽 (屋外)	1式	①点検確認作業 汚れ、腐食、損傷等外観異常の有無 分離機能の状態 ②槽内部状態点検確認と汚れ時清掃作業	2 適時 適時		
61	高圧受電キュービクル (高圧受電盤、低圧電灯盤 低圧動力盤、非常電源盤)	1	①点検確認作業(異常時は速やかに対処) 盤外観及び防護柵の破損・腐食等外観異常の有無 指示計器及び指示ランプ表示 盤内部目視および機器の取付状態 運転状態の記録・測定 その他の点検	2 2		1 1 1 1

	点検機器 (場所)	台数	点検作業項目及び内容	回数		
				毎日	週	月
62	自家発電機 (屋外)	1	①点検確認作業 排気口、排気筒等外観異常の有無、冬期除雪 モニター盤指示計器ランプ表示 ②試運転試験(運転前・中・後の点検) ③発電機全体外部目視点検 ④発電機全体内部目視点検 ⑤エンジン外観及び始動点検 ⑥発電機及び始動盤の外観及び運転点検 ⑦燃料及び冷却水量の点検、補充作業 ⑧バッテリー及び充電器の外観点検 ⑨プリント盤外観点検 ⑩常時予熱回路および計器継電器の点検 ⑪耐震装置の点検 ⑫運転状態の記録・測定 ⑬その他の点検	2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1
63	空冷チリングユニット (屋上)	2	①点検確認作業(異常時は速やかに対処) 風防を含む装置の汚れ、損傷等外観異常の有無 水、冷媒系の漏洩の有無 異音、異臭、振動、過熱等異常の有無 油面の状態 ②点検確認・記録作業(異常時は速やかに対処) 指示計器類の指示値 冷媒配管系の振動、過熱等異常の有無 冷媒配管系の漏洩の有無 圧縮機の異音、異臭、振動、過熱等異常の有無 圧縮機の振動、過熱状態の測定・記録 ③運転休止後 ①冷媒回収後の漏洩確認	冷房時 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1
64	ルーフトレン (屋上)	13	点検確認作業(異常時は速やかに対処) ルーフトレン口の状態 (冬期)ヒーターの通電状態 ヒーターケーブル及びコンセント部外観点検	1	1 1	
65	照明器具 (施設全般)	1式	点検確認作業(異常時は速やかに対処) 施設内蛍光灯球切れ、劣化他異常の有無	2		
66	天井裏配管 (バリア内)	1式	点検確認作業(異常時は速やかに対処) 各種配管類の取り付け状態 水漏れ等外観異常の有無			1 1
67	フロンガス使用機器	1式	外観簡易点検			1回/3月

空調設備等運転管理業務作業基準(本館)

	点検機器 (場所)	台数	点検作業項目及び内容	回数		
				毎日	週	月
1	吸収冷温水機	1	①点検確認作業 本体運転及び停止操作 バーナー 異音、振動、異臭、発熱の有無 腐食、漏洩の有無 自動ダンパ作動状況 火炎及び着火状況点検 各ポンプ外観巡視点検 異音、振動、異臭、発熱の有無 腐食、漏洩の有無 排煙濃度計 排煙濃度計点検及び受光器点検清掃 配管 損傷、漏洩等の有無 空調機械室 室圧確認 ②計測・記録作業 高温再生器及び排ガス温度 冷温水出入り口温度 冷温水機運転時間及び発停回数 冷媒ポンプ運転時間 燃焼時間及び燃焼発停回数 冷水及び温水温度設定	1 1 1 1 1		1 1 1 1 1
2	クリーンルーム設備	1式	①点検確認作業 エアコン外観異常の有無点検 エアコン異音、振動、異臭、発熱の有無点検 エアコン腐食、漏洩の有無点検 エアコン冷媒配管の異常の有無点検 エアコン配管他保温材の異常の有無点検 ②計測・記録作業 温湿度 フィルター差圧			1回/3月 1回/3月 1回/3月 1回/3月 1回/3月 1回/3月
3	高圧受電キュービクル	1式	①点検確認作業(異常時は速やかに対処) 盤外観及び防護柵の破損・腐食等外観異常の有無 指示計器及び指示ランプ表示 盤内部目視および機器の取付状態 その他の点検 ②計測・記録作業 各指示計器のデータ測定 運転状態の記録・測定 漏洩電流測定	1 1	1	1 1 1
4	低圧分電盤	22	①点検確認作業 表示灯による異常の有無 異音、異臭、過熱等異常の有無 盤内部外観点検確認 開閉器動作状態 断線他異常の有無 ②計測・記録作業 各電流値	1 1	1 1	1 1

	点検機器 (場所)	台数	点検作業項目及び内容	回数		
				毎日	週	月
5	制御盤	7	①点検確認作業 表示灯による異常の有無 異音、異臭、過熱等異常の有無 盤内部外観点検確認 開閉器動作状態 断線他異常の有無 ②計測・記録作業 各電流値	1 1	1 1	1
6	警報盤	1	①表示灯の状態点検確認作業(警報発生時は対処) ②異音、異臭、過熱等の異常の有無点検確認作業 盤内部外観点検確認 開閉器動作状態 断線他異常の有無	1	1 1	1
7	火災受信機		①点検確認作業(火報発報時は対処) 各ランプの状態	1		
8	ロスナイ換気扇	32	①点検確認作業 異音、異臭、他外観巡視点検 普通換気及びロスナイ換気の適正確認			1回/6月 1回/6月
9)	ファンコイルユニット	62	①点検確認作業 異音、異臭、他異常の有無 露たれ、漏水他異常の有無 手元スイッチ異常の有無 フィン異常の有無			1回/6月 1回/6月 1回/6月 1回/6月
10)	ファン及びモーター	7	①点検確認作業 汚れ、損傷等異常の有無、Vベルトの状態 異音、異臭、振動、過熱、漏洩等異常の有無 ②計測・記録作業 振動、温度、圧力指示値	1 1		1回/3月
11)	冷温水膨張タンク	1	①点検確認作業 腐食、漏洩、異音、振動の有無 取付ボルト等の緩みの有無 逃がし弁異常の有無			1回/年 1回/年 1回/年
12)	高架水槽	1	①点検確認作業 点検蓋の施錠状況点検 オーバーフロー配管、排水口他点検 水槽及び周囲状況点検			1 1 1
13)	受水槽	1	①点検確認作業 水道使用量確認 昇降梯子の取り付け状況点検 点検蓋の施錠状況点検 排水口点検 揚水ポンプの作動状況点検 水槽及び周囲状況点検	1		1 1 1 1 1

	点検機器 (場所)	台数	点検作業項目及び内容	回数		
				毎日	週	月
21)	パッケージエアコン	7	エアコン 外観異常の有無点検 異音、振動、異臭、発熱の有無点検 腐食、漏洩の有無点検 冷媒配管の異常の有無点検 配管他保温材の異常の有無点検 ②計測・記録作業 温湿度 フィルター差圧	1		1回/3月 1回/3月 1回/3月 1回/3月 1回/3月 1回/3月
22)	ポンプ機器	9	①点検確認作業 グランド部等の異常の有無 異音、振動、過熱、異臭、漏洩等異常の有無 増し締め調整又は交換 ②計測・記録作業 吐き出し圧力の点検 振動、温度測定記録	1 1		1回/3月 1回/3月 1回/3月
23)	排ガス洗浄装置	1式	①点検確認作業 汚れ、損傷等異常の有無、Vベルトの状態 異音、異臭、振動、過熱、漏洩等異常の有無 ・洗浄塔の亀裂、損傷、漏洩、発錆の有無点検 ・洗浄塔のボルト及び支持部の異常の有無点検 ②計測・記録作業 ・振動、温度測定記録 ・圧力指示値点検	1 1		1回/年 1回/年 1 1
24)	ドレンヒーター等 (屋上ドレンヒーター、 門扉ロードヒーター 受水槽等凍結防止ヒーター)		①点検確認作業 ルーフドレン口の状態 (冬期)ヒーターの通電状態 (冬期)ヒーターケーブル及びコンセント部外観点検 (冬期)ヒーターの運転・停止 ②計測・記録作業 (冬期)ヒーターの絶縁抵抗測定			1回/6月 1 1 必要の都度 1回/年

放射線管理関係法令の遵守義務

1.目的

仕様書本文中に記載する請負業務に係る放射線管理区域内の作業(以下「管理区域内作業」という。)を、安全かつ的確に実施するため、「労働安全衛生法」等に基づき、請負者が遵守しなければならない放射線管理上の必要事項を定めるものである。

2.適用範囲

当研究所の放射線障害予防規程(以下「予防規程」という。)に規定する、「放射線業務従事者」又は「一時立入者」として管理区域内作業を行う請負者に適用する。

3.放射線管理の基本事項

- 1) 請負者は、放射線業務従事者に係る電離放射線障害防止規則(以下「電離則」という。)に基づく被ばく線量に係る管理、電離放射線健康診断(以下「電離健診」という。)に係る管理を行うこと。
- 2) 請負者は、労働基準法及び労働安全衛生法並びに労働者災害補償保険法、加えて電離則等の関係法令を遵守すること。
- 3) 請負者は、当研究所が規定する予防規程、事故対策規定及び地震対応要領等の諸規則を遵守すること。
- 4) 請負者は、管理区域内の作業開始の手続きは、「放射線業務従事者」又は「一時立入者」の申請を行い、当研究所の許可を受けること。
- 5) 請負者は、当研究所が行う安全確保及び被ばく低減に関する指導・助言を尊重すること。
- 6) 放射線業務従事者の内部被ばくに係る評価は、当研究所が行う。

4.保安全管理

請負者は、作業安全及び放射線管理要領並びに個人被ばくの一元的管理を确实かつ円滑に実施するため、管理体制の整備に努めること。

4.1 放射線業務従事者に係る管理

4.1.1 管理体制

- 1) 請負者は、管理区域内作業を円滑かつ安全に遂行するため、放射線作業責任者を選任し、『放射線作業責任者届(様式:技放 3-1)』を2部提出すること。
- 2) 放射線作業責任者の選任は、原則として管理区域内作業に従事する者の中から選任すること。
- 3) 放射線作業責任者は、下記の事項を統括すること。
 - ①安全管理の徹底
 - ②作業内容、作業手順及び作業環境の把握
 - ③当研究所との連絡及び調整
 - ④その他、放射線管理上必要な事項等

4.1.2 放射線業務従事者に係る放射線管理

- 1) 当研究所が実施する内部被ばくに係る評価については、原則として翌月の休日を除いた月初めに実施し、当該記録を請負者へ通知するものとする。なお、当該記録が記録レベル未満であり請負者が必要としない場合は通知を省略できるものとする。
- 2) 請負者は、「放射線業務従事者」に対し、放射性同位元素等規制法に基づく教育訓練(予防規程を除く。)を初めて管理区域に立ち入る前及び管理区域に立ち入った後にあつては1年を超えない期間ごとに実施し、その実施記録(様式:技放 3-2-1 又は技放 3-2-2)を提出すること。
- 3) 請負者は、放射線業務従事者について電離則第 56 条に基づく電離健診の実施等を行うこと。
- 4) 請負者は、電離則の規定に基づき、放射線業務従事者の被ばく線量の測定(内部被ばくを除く)、記録及び通知を行うこと。
- 5) 請負者は、当研究所が実施する予防規程等に基づく保安教育について、当該放射線業務従事者を受講させること。

4.1.3 放射線業務従事者の手続き

請負者は、管理区域内の作業に従事する者について、予防規程に規定する放射線業務従事者の指定登録及び指定解除に係る以下の手続き等を行うものとする。

- 1) 放射線業務従事者の指定登録にあたっての準備
 - ①放射線被ばく経歴の調査
被ばく線量登録管理制度に基づく放射線管理手帳又はRI被ばく線量登録管理制度に基づく経歴照会回答票等を用いて被ばく歴の確認を行うこと。

②電離健診の実施

電離則第 56 条に基づく電離健診を受診させること。

③個人線量計の取得

外部被ばく線量測定のための個人線量計を準備すること。なお、管理区域に指定され、かつ、Specific Pathogen Free (SPF) 管理がなされている箇所で使用する個人線量計については、防水性、耐薬品性(酸化エチレンガス、アルコール)、耐高温性を有した所定のもの相当品とすること。

2) 放射線業務従事者の指定登録の申請

『放射線業務従事者指定申請書(様式:技放 1-1-1 又は技放 2-1)』に所定事項を記入の上、「電離放射線健康診断個人票(労働省令様式第1号の2)の写し」及び「放射線管理手帳の写し又は経歴照会回答票の写し」等を添付し、提出すること。

3) 放射線業務従事者の指定解除

放射線業務従事者が管理区域内作業を終了する際は、『放射線業務従事者解除届(様式:技放 1-5-1 又は技放 2-5)』に所定事項を記入の上、提出すること。

4.1.4 放射線業務従事者の個人管理

請負者は、放射線業務従事者の指定登録を開始してから指定解除するまでの期間(以下「指定期間」という。)について、以下の管理を行うものとする。

1) 外部被ばく線量の測定等

①放射線業務従事者の外部被ばく線量の測定については、個人線量計により実効線量及び等価線量の測定を行い、当該測定結果の写しを提出すること。

②個人線量計の測定対象期間は、原則として一箇月(毎月1日～末日)単位とし、指定期間が月を跨がず、かつ、一箇月に満たない短期間の場合は当該指定期間単位とすること。

③電離則第 8 条及び第 9 条に基づいた被ばく線量の測定、記録、保存及び通知を行うこと。

2) 定期的な電離健診の実施

放射線業務従事者の指定期間中における定期的な電離健診を実施し、「電離放射線健康診断個人票(労働省令様式第1号の2)の写し」を提出すること。

3) 個人管理

請負者は、当研究所が実施する内部被ばく線量評価の結果及び上記 1) の被ばく線量の測定結果に従い、被ばく線量登録管理制度に基づく個人管理に努めること。

4.2 一時立入者に係る放射線管理

管理区域内に一時的に立ち入って業務を実施する請負者は、予防規程に規定する一時的な立ち入りに係る以下の手続き等を行うものとする。

1) 管理区域への一時的な立ち入り

管理区域内に一時的に立ち入って業務を実施する際は、当該施設、設備及び機器について十分な知識を有した放射線業務従事者の随行のもとに行うものとする。

2) 一時立入の申請

『管理区域一時立入申請書／許可書(様式:技放 1-2-1、技放 1-2-2、技放 2-2)』に所定事項を記入の上、提出すること。

3) 立入前教育について

当研究所が実施する管理区域への立ち入りに関する注意事項等の説明を受けるとともに、当該事項を遵守すること。

4) 外部被ばく線量の測定

外部被ばく線量の測定は、当研究所のポケット線量計等の個人被ばく測定器により行い、当該測定結果に計画外の被ばくが無いことを確認すること。

ただし、一時立入者が複数で、かつ、同一行動となるような場合は代表者のみの測定とすることができる。

4.3 特定の区域立ち入りに係る本人の信頼性確認

一部の区域への立ち入りに際し、当研究所の随行無く立ち入りをを行う者については、運転免許証、パスポート、個人番号カード等の公的機関が発行した顔写真付きの書類、又は住民票記載事項証明書、健康保険証等の 2 種類以上の公的書類（以下「運転免許証等」という。）の原本の写しを提出し、事前に当研究所の承認を受けるものとする。

なお、当該区域への立ち入りに際して当研究所の随行の下に立ち入りをを行う者は、その立ち入りの前に運転免許証等を提示し確認を受けるものとする。

5.提出書類一覧

No	書類件名	提出頻度等	部数	様式等	
1	放射線作業責任者届	原則として 作業開始の 2週間前まで	2部	技放 3-1	
2	新規教育記録 (初めて管理区域に立ち入る 前)	原則として 指定申請書と 合わせて提出	1部	技放 3-2-1	
	年次教育記録 (管理区域に立ち入った後にあ っては1年を超えない期間毎 に)	実施後速やかに (指定登録を継 続している者 のみ)		技放 3-2-2	
3	電離放射線健康診断個人票 の写し(指定前)	原則として 指定申請書と 合わせて提出	1部	労働省令様式第1号の2	
	電離放射線健康診断個人票 の写し(定期)	速やかに	1部		
4	放射線業務従事者指定申請書	原則として 作業開始の 2週間前まで	1部	本所側	技放 1-1-1
				AMBIC側	技放 2-1
5	管理区域一時立入申請書 ／許可書	原則として 立入開始の 1週間前まで	1部	低線量棟	技放 1-2-1
				全天候	技放 1-2-2
				AMBIC	技放 2-2
6	放射線業務従事者指定解除届	作業の終了が明 確になったとき又 は作業が終了し たとき、速やかに	1部	本所側	技放 1-5-1
				AMBIC側	技放 2-5
7	放射線管理手帳の「 A.個人識別項目、 E.被ばく前歴、 G.被ばく歴および原子力等 施設での従事者指定・解除 (当該年度分)」の写し又は 経歴照会回答票等の写し	原則として 作業開始の 2週間前まで	1部	—————	
8	個人線量計測定結果の写し	速やかに	1部	—————	

9	運転免許証等(運転免許証、 パスポート、個人番号カード等 の公的機関が発行した顔写真 付きの書類又は住民票記載事 項証明書、健康保険証等の 2 種類以上の公的書類)の原本 の写し	当研究所が 必要とする場合 (原則として 作業開始の 2 週間前まで)	1 部	<hr style="width: 100px; margin: auto;"/>
---	---	---	-----	---

注 1) 提出書類の No.1~6 に係る様式については、別途支給する。

注 2) 提出書類の No.1~3 については、必要項目等を満たしている場合は支給様式に限らない。

注 3) 提出書類の作成にあたっては、その都度最新の様式か確認を経て作成すること。

※提出書類については、個人情報の保護に留意し当研究所の安全管理及び関係法令により必要とされる業務のため、当研究所及び当該業務を委託する会社が利用いたします。また、当該目的以外で使用することはありません。

本業務で立入りする場所において取扱いしている特定化学物質

場所：本館

No	特定化学物質名	使用する場所	備考
1	弗化水素酸（第2類物質）	1階 放射化学分析室	
2		2階 機器分析前処理室	